

# MD201(1D) / MD202(2D)

ユーザーマニュアル

User Manual



3.1.13.2  
2023年5月

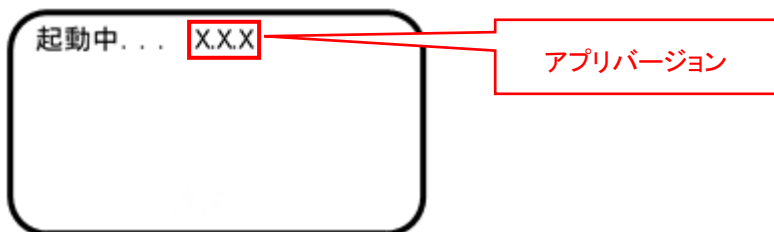
11503202

本書は以下のアプリバージョン以降を対象とします

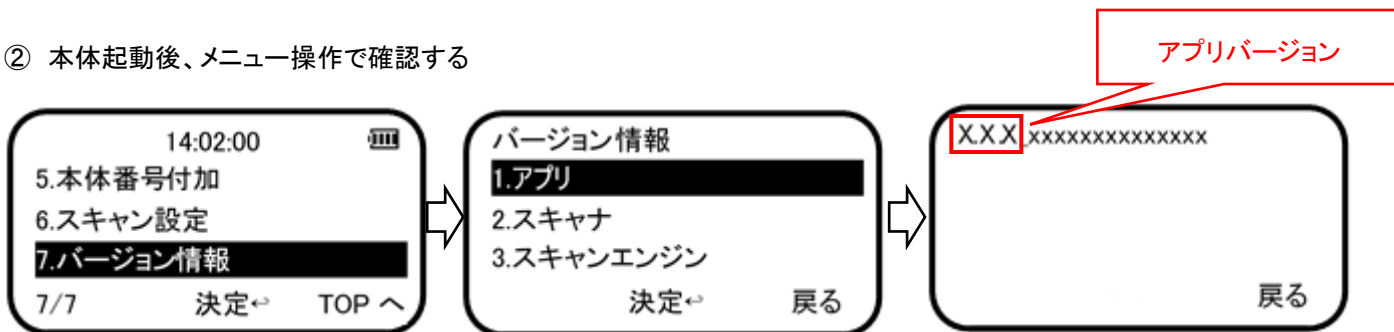
### 3.1.13

お使いのアプリバージョンは次のいずれかの方法で確認できます

- ① 本体起動中に表示される画面で確認する



- ② 本体起動後、メニュー操作で確認する



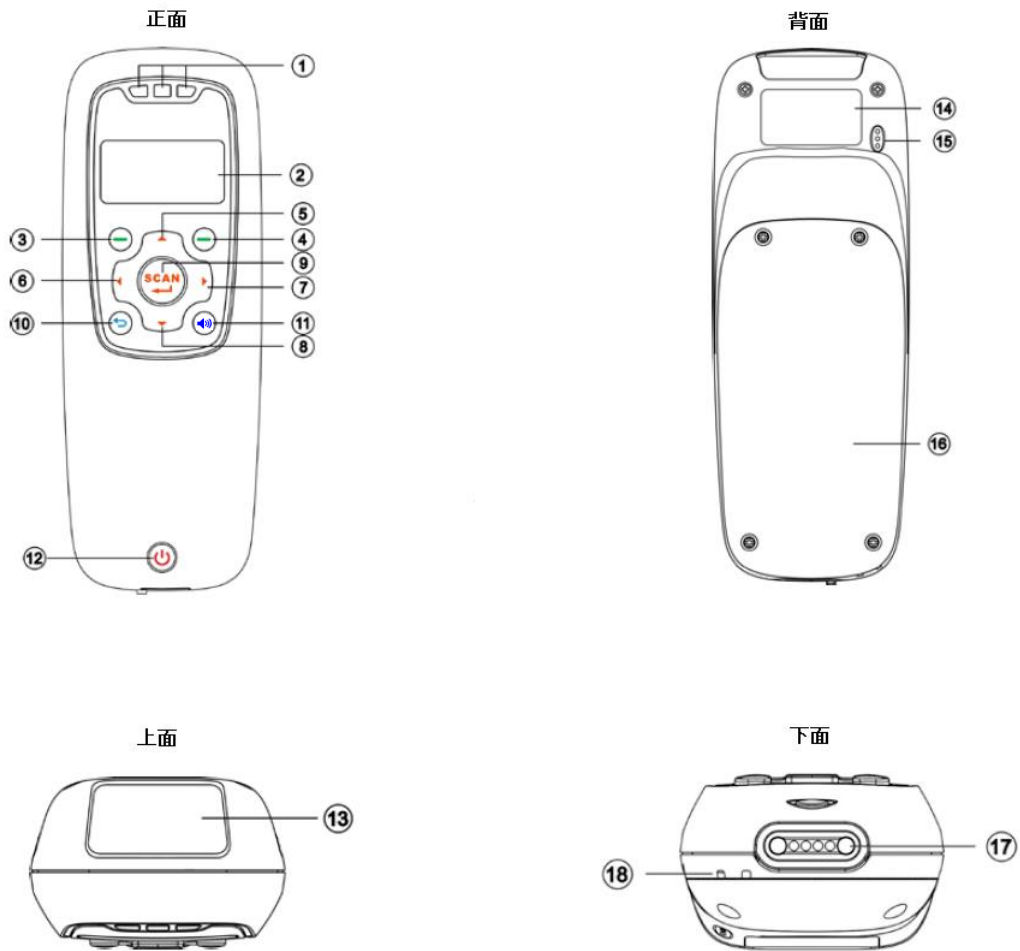
# 目次

1	本体各部説明	6
2	使用を開始する	7
2.1	本体の電源 ON/OFF	7
2.2	本体バッテリーの充電	9
(1)	電源の入った PC に接続して充電	9
(2)	充電コネクタに接続して充電	9
2.3	スリープモードに入る／解除する	9
2.4	本体バッテリーの取り外し	10
3	画面説明	11
3.1	アイコン	11
3.2	メニュー構成	12
4	読み取りモード	18
4.1	読み取りの操作	18
(1)	読み取りモードを開始する	18
(2)	画面説明	19
(3)	キー操作説明	20
4.2	読み取りデータを手入力する	21
4.3	読み取りモード設定	23
4.3.1	読み取りモード設定を開始する	23
4.3.2	リポート保存・個数付加の設定を行う	24
(1)	設定方法	24
(2)	画面説明	25
(3)	キー操作説明	26
(4)	保存回数あるいは個数設定を【↑】／【↓】キーで行う	27
(5)	リポート保存回数を手入力で行う	29
(6)	付加する個数を手入力で行う	31
4.3.3	データベース参照の設定を行う	33
(1)	設定方法	33
(2)	画面説明	35
4.3.4	二重読み取り禁止の設定を行う	36
(1)	設定方法	36
(2)	画面説明	37
4.4	履歴(保存データ)確認	38
4.4.1	履歴(保存データ)確認の開始／終了	38
4.4.2	履歴(保存データ)を確認する	39
(1)	操作	39
(2)	画面説明	40
(3)	キー操作説明	40
(4)	各種付加データの記録順について	42
5	照合モード	43
5.1	照合モード設定	44

5.1.1	照合モード設定を開始する .....	44
5.1.2	照合方法(1対1/1対N/DB)を選択する .....	45
5.1.3	照合DBを作成する(作成方法を定める) .....	47
5.1.4	照合DBを作成する(データをDBに登録する) .....	50
5.1.5	照合カラム(照合範囲)を設定する .....	51
(1)	照合カラム(照合範囲)設定を開始する .....	51
(2)	「開始桁指定」を行う .....	52
(3)	「開始桁」を指定する .....	53
(4)	「照合桁数」を指定する .....	54
(5)	初期状態に戻す .....	55
5.2	1対1照合の操作 .....	56
(1)	照合モードを開始する .....	56
(2)	画面説明 .....	57
(3)	キー操作説明 .....	58
5.3	1対N照合の操作 .....	60
(1)	照合モードを開始する .....	60
(2)	画面説明 .....	61
(3)	キー操作説明 .....	62
5.4	DB照合の操作 .....	64
(1)	照合モードを開始する .....	64
(2)	画面説明 .....	65
(3)	キー操作説明 .....	66
5.5	履歴(保存データ)確認 .....	67
5.5.1	履歴(保存データ)確認の開始/終了 .....	67
5.5.2	履歴(保存データ)を確認する .....	68
6	PCと通信 .....	69
7	ファイル操作 .....	70
7.1	ファイル操作を開始する .....	70
7.2	ファイルの初期化を行う .....	71
7.3	履歴(保存データ)を確認する .....	72
8	本体番号付加 .....	73
9	スキャン設定 .....	75
9.1	設定項目一覧 .....	76
9.2	項目毎の設定方法 .....	77
9.2.1	確認送信 .....	77
(1)	設定方法 .....	77
(2)	操作方法 .....	78
9.2.2	日付付加 .....	80
9.2.3	時刻付加 .....	81
9.2.4	時刻・日付設定 .....	82
(1)	時刻を設定する .....	82
(2)	日付を設定する .....	84

9.2.5	バーコードシンボル付加 .....	87
9.2.6	スキャン方法 .....	88
(1)	1D モデルのとき .....	88
(2)	2D モデルのとき .....	89
9.2.7	文字エンコード .....	91
9.2.8	画面・スリープ設定 .....	93
(1)	スリープ設定 .....	93
(2)	バックライト点灯時間 .....	95
(3)	履歴閲覧設定 .....	97
9.2.9	ビープ音設定 .....	98
9.2.10	バイブ設定 .....	99
9.2.11	設定の初期化 .....	100
9.2.12	バーコードを「”」(ダブルクォート)で囲む .....	101
9.2.13	読み取りモード設定 .....	102
9.2.14	照合モード設定 .....	103
9.2.15	DB関連データ付加 .....	104
10	バージョン情報 .....	105

# 1 本体各部説明



番号	名称	番号	名称
①	LED	⑩	【リターン】キー
②	画面	⑪	ビープ音変更キー
③	【左上】キー	⑫	電源／スリープキー
④	【右上】キー	⑬	スキャンウィンドウ
⑤	【↑】キー	⑭	ラベル(シリアルナンバー等表記)
⑥	【←】キー	⑮	ビープ
⑦	【→】キー	⑯	バッテリーカバー
⑧	【↓】キー	⑰	USB／充電ポート
⑨	【SCAN】キー	⑱	ネックストラップ取付口

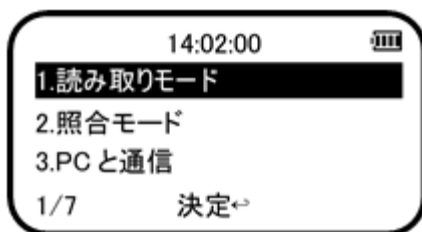
## 2 使用を開始する

### 2.1 本体の電源 ON/OFF

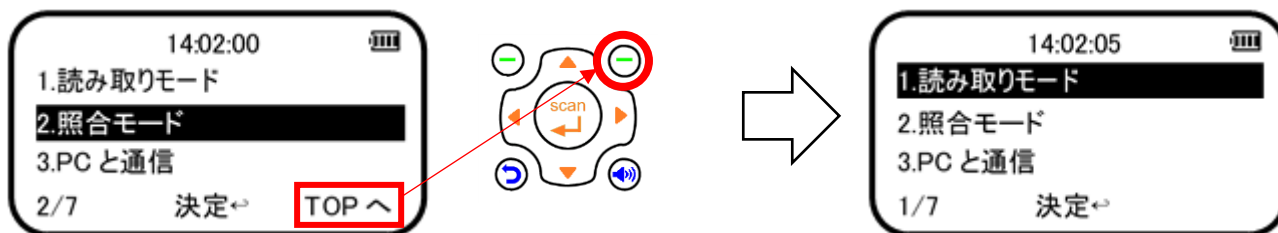
電源キーの長押し(2秒ほど)で本体の電源 ON/OFF を行います。



電源を ON にすると「起動中...」画面を表示後、メインメニューを表示します(注)。

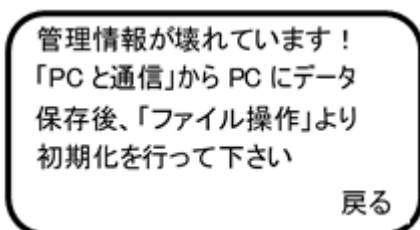


メインメニューで「1.読み取りモード」以外の項目を選択しているときは画面右下に「TOP へ」と表示します。現在選択中の項目がいずれであっても、【右上】(TOP へ)キーを押すと「1.読み取りモード」を選択状態にすることができます。

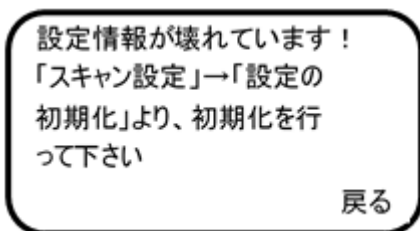


注: 電源 ON 時に読み取りデータの管理情報あるいはスキャン設定情報が壊れていたときはメインメニュー表示前に次のメッセージを表示します。

1. 読み取りデータの管理情報が壊れているとき



2. スキャン設定情報が壊れているとき



メッセージが表示されたときは表示内容に従い対応を行ってください。  
メッセージが表示された画面で【右上】(戻る)キーを押すとメインメニューを表示します。

なお、これらのメッセージ表示は本体を PC に接続後、MD100Manager の【接続解除】ボタンで接続解除せずに USB ケーブルを抜き取る操作等が原因の場合があります。



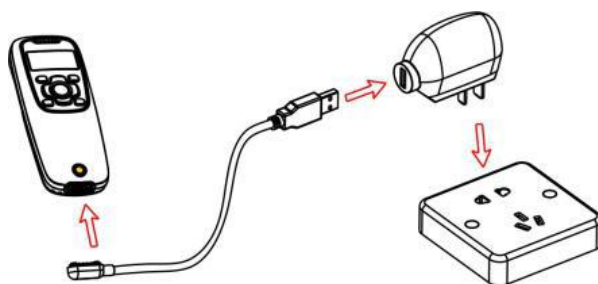
## 2.2 本体バッテリーの充電


バッテリーの充電を行うには、付属の USB ケーブルを使用し次のいずれかの方法で行うことができます。

### (1) 電源の入った PC に接続して充電




### (2) 充電コネクタに接続して充電





本体電源が ON の場合、画面の上部に本体が PC に USB 接続されたことを示すアイコン  を表示します。また充電中は本体の充電インジケータ(赤色の LED)が点灯します。充電が完了すると赤色の LED は消灯します(4 時間ほどでフル充電になります)。



## 2.3 スリープモードに入る／解除する

電源 ON のときに電源キー  を 0.5 秒ほど押すとスリープモードに入ります。またスリープ状態のときに電源キーを 0.5 秒ほど押すとスリープを解除します。ただし、スキャン方法が「ハンズフリー」のときはスリープモードを使わないでください。

## 2.4 本体バッテリーの取り外し

項番	説明	図
1.	バッテリーカバーの 4 本のねじを外し、バッテリーカバーを取り外します	
2.	バッテリーパックを持ち上げ本体に接続しているケーブルを抜き、バッテリーパックを取り外します	

### 3 画面説明

#### 3.1 アイコン

画面に表示されるアイコンについて次に示します。

アイコン	説明
	本体が USB ケーブルで PC と接続しています
	バッテリー残量は 100%～75%です
	バッテリー残量は 75%～50%です
	バッテリー残量は 50%～25%です
	バッテリー残量は 25%～10%です
	バッテリー残量は 10%未満です
	読み取りモードにおいて、二重読み取り禁止が「有効」です
	読み取りモードにおいて、データベース参照が「有効」です
	1対1照合モードです
	1対N照合モードです
	DB照合モードです
	読み取りモードあるいは照合モードでバーコードを読み取るときの文字エンコードが「UTF-8」です

### 3.2 メニュー構成

メニューの構成を次に示します。

※項目名の左に (\*) が記載されている項目は初期値(「設定の初期化」で設定する値)です

1.読み取りモード	【→】キー ※読み取りモード設定画面表示	1.個数入力	1.無効(*) 2.リピート回数指定 3.個数入力
	【←】キー ※履歴一覧画面表示	2.データベース参照	1.無効(*) 2.有効
		3.二重読み取り禁止	1.無効(*) 2.有効
2.照合モード	【→】キー ※照合モード設定画面表示	1.照合方法	1.1 対 1 照合(*) 2.1 対 N 照合 3.DB 照合 4.照合 DB 作成
			1.既存照合 DB に追加 2.照合 DB を新規作成

2.照合カラム設定	1.照合元	開始桁指定(*コード左から)
		開始桁(*1)
		照合桁数(*0)

2.照合先		開始桁指定(*コード左から)
		開始桁(*1)
		照合桁数(*0)

【←】キー  
※履歴一覧画面表示

3.PCと通信 ※USB ケーブル接続要求画面表示

4.ファイル操作	1.初期化	1.しない(*)
		2.する

2.履歴確認  
※履歴一覧画面表示

5.本体番号付加	1.無効(*)
	2.有効
	※本体番号入力画面表示

6.スキャン設定	1.確認送信	1.無効(*)	
		2.有効	
	2.日付付加	1.無効(*)	
		2.有効	
	3.時刻付加	1.無効(*)	
		2.有効	
	4.時刻・日付設定	設定(左上キー)	1.時刻 ※時分秒入力画面表示
			2.日付 ※年月日入力画面表示
	5.バーコードシンボル付加	1.無効(*)	
		2.有効	
	6.スキャン方法	1.トリガーモード(*)	
		2.グッドリード	
	3.オートスキャン(1D 時) ハンズフリー(2D 時)		

7.文字エンコード	1.Shift-JIS(*)
	2.UTF-8

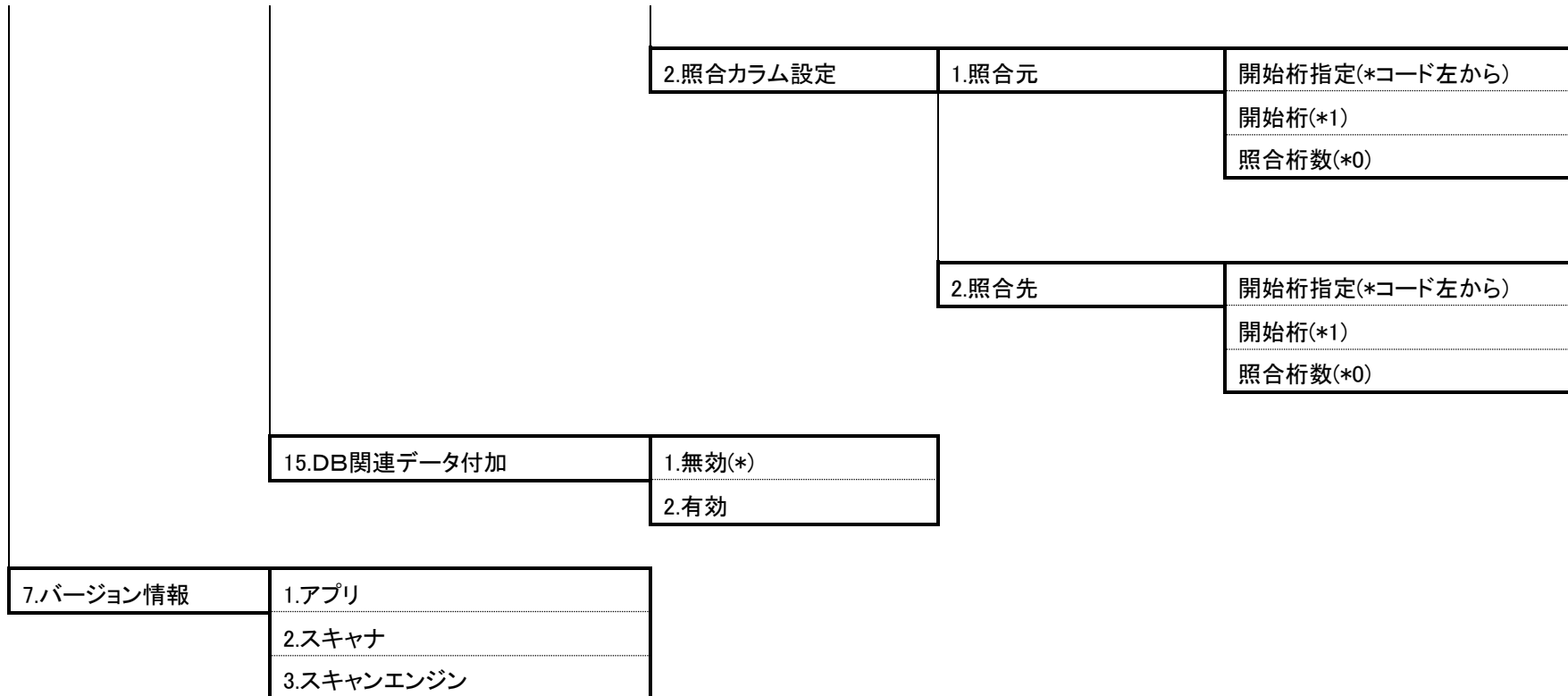
8.画面・スリープ設定	1.スリープ設定	1.1 分
		2.5 分(*)
		3.10 分
		4.なし
	2.バックライト点灯時間	1.10 秒
		2.30 秒(*)
		3.60 秒
		4.常時点灯
	3.履歴閲覧設定	1.左右キーで頁切替(*)
		2.右キーで全体表示

9.ビープ音設定	1.大
	2.中(*)
	3.小
	4.なし

10.バイブ設定	1.有効(*)
	2.無効

11.設定の初期化	1.する		
	2.しない		
12.バーコードを「”」で囲む	1.無効(*)		
	2.有効		
13.読み取りモード設定	1.個数入力	1.無効(*)	
		2.リピート回数指定	
		3.個数入力	
	2.データベース参照	1.無効(*)	
		2.有効	
	3.二重読み取り禁止	1.無効(*)	
2.有効			
14.照合モード設定	1.照合方法	1.1 対 1 照合(*)	
		2.1 対 N 照合	
		3.DB 照合	
		4.照合 DB 作成	
		1.既存照合 DB に追加	
	2.照合 DB を新規作成		





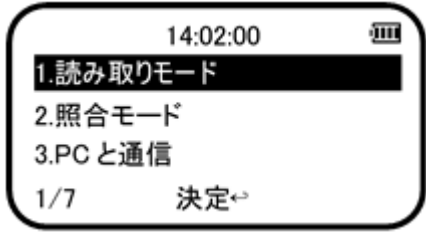
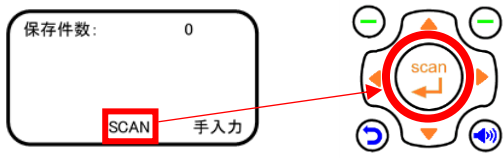
## 4 読み取りモード

読み取りモードではバーコードを読み取り、読み取ったバーコードデータを本体に保存することができます。  
読み取り可能なバーコードの最大は 999 バイトです。

### 4.1 読み取りの操作

#### (1) 読み取りモードを開始する

読み取りモードを開始するには、次の操作を行います。

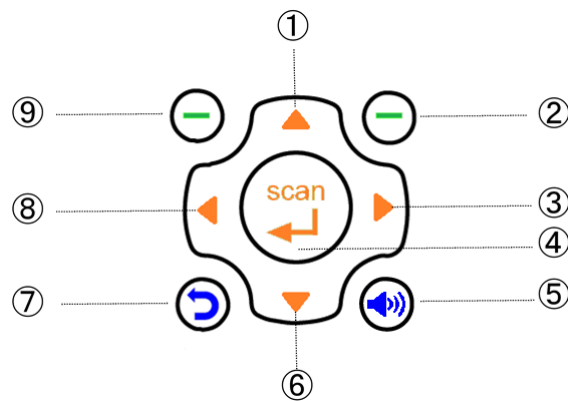
項番	説明	画面
1.	メインメニューで【↑】／【↓】キーを使用し「1. 読み取りモード」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	 A screenshot of a handheld device's main menu. At the top, the time is 14:02:00 and there is a battery icon. The menu items are: 1. 読み取りモード (highlighted with a black bar), 2. 照合モード, 3. PCと通信. At the bottom, it shows '1/7' and a '決定' (Enter) key icon.
2.	読み取りモード画面を表示します  【SCAN】キーを押すとバーコードを読み取ることができます	 Two images are shown. On the left is a screenshot of the scanning screen with '保存件数: 0' and a 'SCAN 手入力' button. On the right is a diagram of the device's control panel with a red circle highlighting the 'scan' button, which is indicated by a red arrow from the 'SCAN' button in the screenshot to the left.

(2) 画面説明



項番	説明
①	本体に保存しているデータ件数を表示します
②	読み取ったバーコードデータを表示します
③	読み取り時メッセージを表示します ※二重読み取り時やデータベース参照時のメッセージを表示します
④	読み取りモード設定状態をアイコンで表示します <b>2</b> : 二重読み取り禁止が「有効」であることを示します(非表示のときは「無効」) <b>d</b> : データベース参照が「有効」であることを示します(非表示のときは「無効」) <b>8</b> : 文字エンコードが「UTF-8」であることを示します(非表示のときは「Shift-JIS」)

### (3) キー操作説明



項番	説明
①	バーコードを上スクロールします 表示しているバーコードが3行以上の場合、上スクロールするときを使用します
②	バーコードの読み取りを手入力で行います 本キーを押すと英数字でのバーコード手入力画面を表示し、手入力した内容を読み取りバーコードとすることができます
③	読み取りモード設定画面を表示します 読み取りモード設定では次の設定を行うことができます 1) リピート保存・個数付加 ・リピート保存または個数付加の有効／無効を指定します 2) データベース参照 3) 二重読み取り禁止
④	バーコードを読み取ります(※オートスキャン(連続照射)／ハンズフリー時は除きます)
⑤	ビープ音を変更します 押すごとに、大→中→小→OFF、の順でビープ音を変更します
⑥	バーコードを下スクロールします 表示しているバーコードが3行以上の場合、下スクロールするときを使用します
⑦	読み取りモードを終了しメインメニューに戻ります
⑧	履歴(保存データ)一覧画面を表示します
⑨	スキャン方法がオートスキャン(連続照射)のときは【リターン】キーを除き他のキー操作を受けつけませんが、本キーを押した状態で他のキーを押すことで希望する操作を行うことができるようになります

## 4.2 読み取りデータを手入力する

バーコードの読み取りを手入力で行うことができます。

バーコードをスキャンし読み取ったデータ同様、手入力したデータを本体に保存することができます。

入力可能文字は、次のとおりです。

0	1	2	3	4	5	6	7	8
9	A	B	C	D	E	F	G	H
I	J	K	L	M	N	O	P	Q
R	S	T	U	V	W	X	Y	Z
a	b	c	d	e	f	g	h	i
j	k	l	m	n	o	p	q	r
s	t	u	v	w	x	y	z	sp
!	"	#	\$	%	&	'	(	)
*	+	,	-	.	/	:	;	<
=	>	?	@	[	\	]	^	_
`	{		}	~				

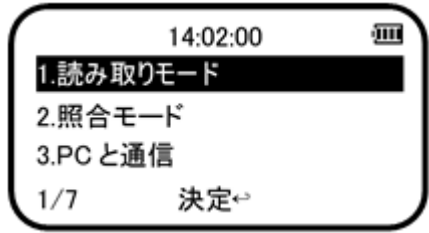
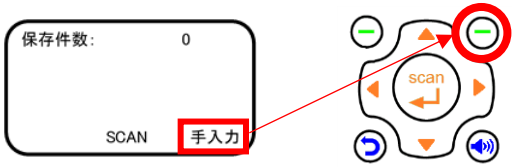

※注意 1

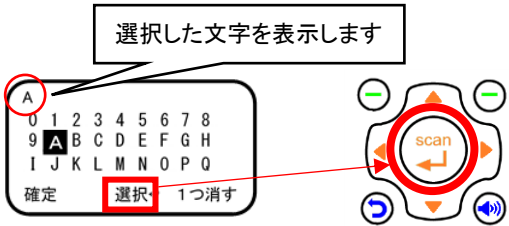
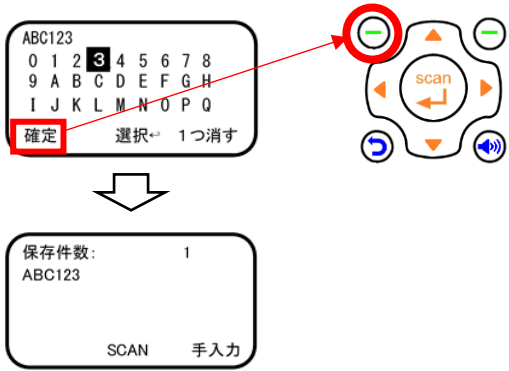
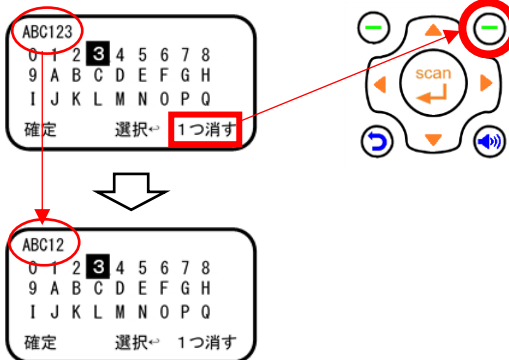
「sp」は画面上何も表示されませんが、半角スペースとして入力されます

※注意 2

画面上「\」(バックslash)で表示される記号は、「¥」記号として入力されます

次の操作で手入力を行います。

項番	説明	画面
1.	メインメニューで【↑】/【↓】キーを使用し「1. 読み取りモード」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、読み取りモード画面を表示します	
2.	読み取りモード画面で【右上】(手入力)キーを押します	
3.	手入力画面を表示します	

項番	説明	画面
4.	<p>手入力画面で、【↑】／【↓】／【←】／【→】キーを使い該当する数字あるいは文字を選択後【SCAN】(選択)キーを押し入力します</p> <p>※入力可能最大文字数は <u>30</u> です</p>	 <p>選択した文字を表示します</p>
5.	<p><b>a) 手入力データを確定する</b></p> <p>手入力画面で【左上】(確定)キーを押すと、データを確定し読み取りモード画面に戻ります</p>	 <p>保存件数: 1 ABC123</p> <p>SCAN 手入力</p>
6.	<p><b>b) 最後に入力した数字を取り消す</b></p> <p>手入力画面で【右上】(1つ消す)キーを押すと、最後に入力した数字を取り消すことができます</p> <p>※【リターン】キーを押すと手入力を中止し読み取りモード画面に戻ります</p>	 <p>ABC12</p>

## 4.3 読み取りモード設定

### 4.3.1 読み取りモード設定を開始する

読み取りモード設定を開始するには、読み取りモード画面で次の操作を行います。

項番	説明	画面
1.	読み取りモード画面で【→】キーを押します	
2.	読み取りモード設定画面を表示します ここでは次の設定を行うことができます  1) リポート保存・個数付加 2) データベース参照 3) 二重読み取り禁止	
3.	読み取りモード設定画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと読み取りモード画面に戻ります	

### 4.3.2 リポート保存・個数付加の設定を行う

読み取ったバーコードのリポート保存(指定された個数分同一データを保存)や、読み取ったバーコードに指定した個数を付加し保存することができます。

#### (1) 設定方法

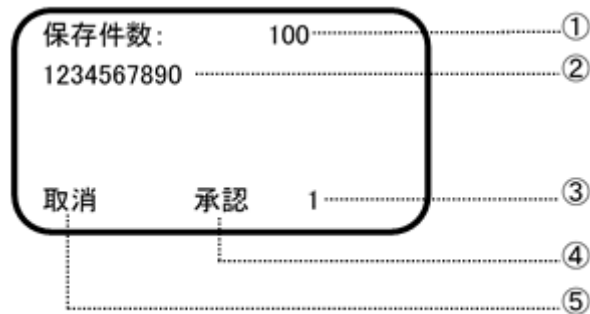
リポート保存・個数付加の設定は、読み取りモード設定画面で次のように操作します。

項番	説明	画面
1.	読み取りモード設定画面で「 <b>1. リポート保存・個数付加</b> 」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、リポート保存・個数付加画面を表示します	
2.	<p>a) <u>無効にする</u></p> <p>「<b>1. 無効</b>」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します</p>	
3.	<p>b) <u>リポート保存を行う</u></p> <p>「<b>2. リポート保存</b>」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します ※指定可能な保存回数は <u>1~255</u> です</p>	
4.	<p>c) <u>個数付加を行う</u></p> <p>「<b>3. 個数付加</b>」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します ※指定可能な個数は <u>-99999~99999</u> です</p> <p>個数の記録順については「<u>4.4.2 (4)各種付加データの記録順について</u>」を参照してください</p>	
5.	リポート保存・個数付加画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと読み取りモード設定画面に戻ります	



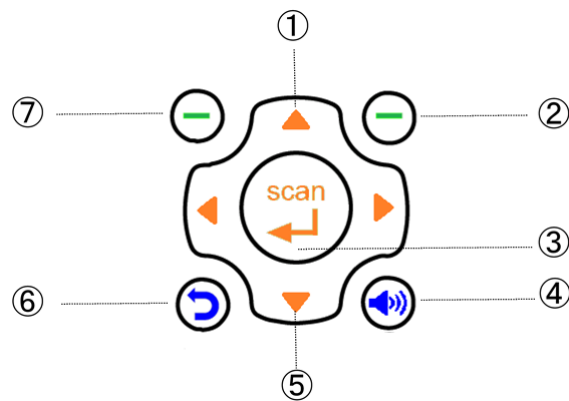
## (2) 画面説明

レポート保存回数あるいは個数付加設定時、バーコード読み込み直後の画面は次のとおりです。



項番	説明
①	本体に保存しているデータ件数を表示します
②	読み取ったバーコードデータを表示します
③	レポート保存回数あるいは付加する個数を表示します ※初期値は「1」です
④	【SCAN】(承認)キーを示します 本キーを押すとレポート保存回数あるいは付加個数を確定し本体にデータを保存します
⑤	【左上】(取消)キーを示します 本キーを押すと今回のバーコード読み取りを取り消します


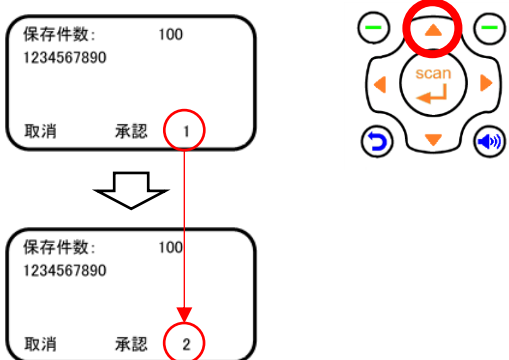
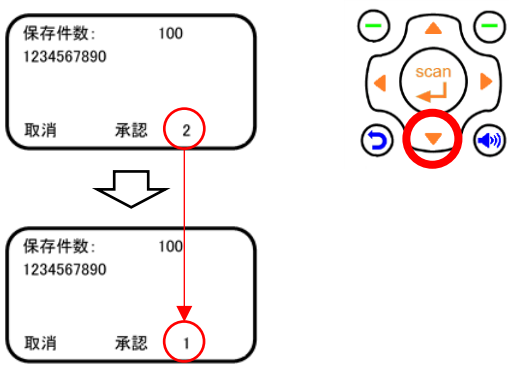
(3) キー操作説明



項番	説明
①	リピート保存回数あるいは付加個数を「+1」します
②	手入力でリピート保存回数あるいは付加個数を指定します 本キーを押すと手入力画面を表示し、手入力でリピート保存回数あるいは付加個数を指定できます
③	・リピート保存指定時: 指定した回数分、バーコードデータを保存します ・個数付加指定時: 指定した個数を付加しバーコードデータを保存します
④	ビープ音を変更します 押すごとに、大→中→小→OFF、の順でビープ音を変更します
⑤	リピート保存回数あるいは付加個数を「-1」します
⑥	読み取ったバーコードデータを破棄します(本体に保存しません)
⑦	読み取ったバーコードデータを破棄します(本体に保存しません)

(4) 保存回数あるいは個数設定を【↑】／【↓】キーで行う


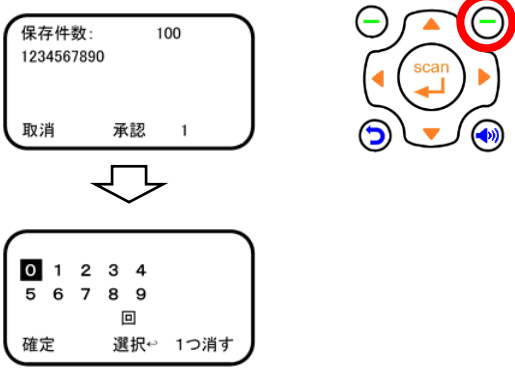
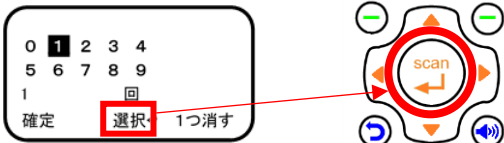
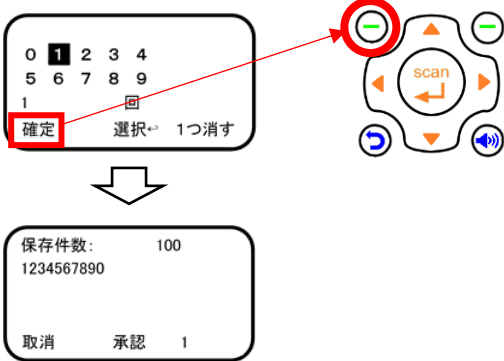
レポート保存回数あるいは付加する個数の設定を【↑】／【↓】キーで行うには、回数あるいは個数入力画面で次のように操作します。

項番	説明	画面
1.	レポート保存あるいは個数付加設定時にバーコードを読み取ると回数あるいは個数入力画面を表示します	
2.	<p><b>a) 回数あるいは個数を「+1」する</b></p> <p>【↑】キーを押します</p>	
3.	<p><b>b) 回数あるいは個数を「-1」する</b></p> <p>【↓】キーを押します</p>	

項番	説明	画面
4.	<p>c) <u>回数あるいは個数を確定する</u></p> <p>【SCAN】(承認)キーを押します</p>	
5.	<p>回数あるいは個数入力画面で【左上】(取消)キーあるいは【リターン】キーを押すと読み取りモード画面に戻ります</p>	

(5) リピート保存回数を手入力で行う


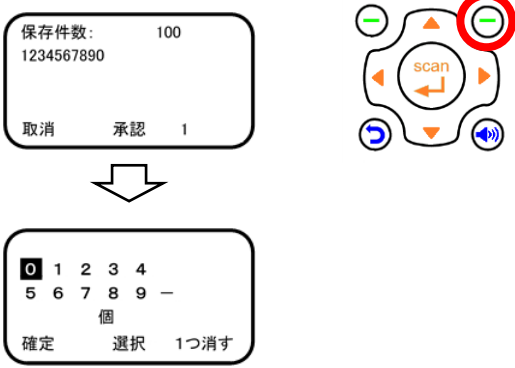
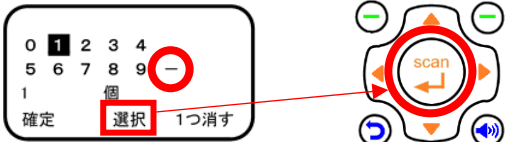
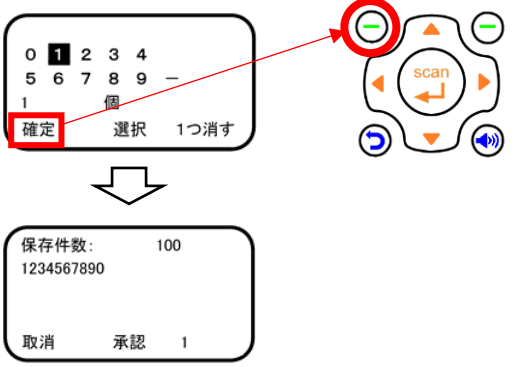
リピート保存回数を手入力で行うには、回数入力画面で次のように操作します。

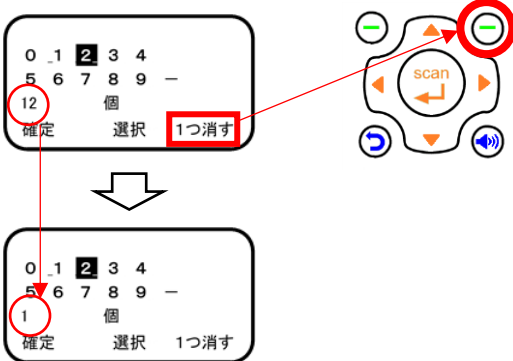
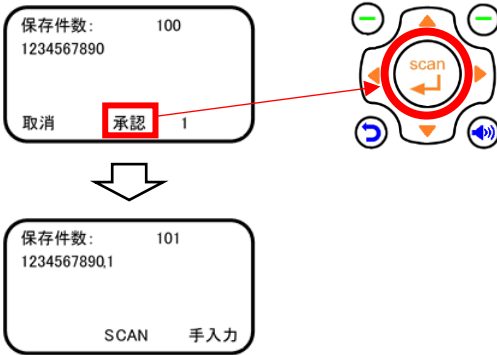
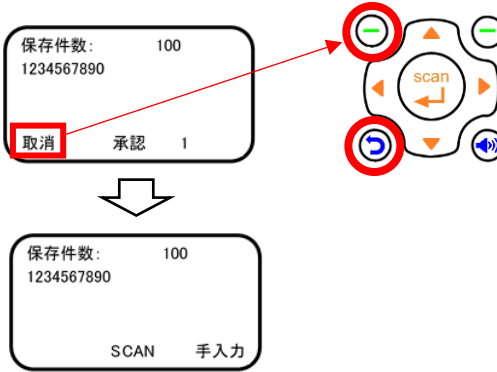
項番	説明	画面
1.	リピート保存設定時にバーコードを読み取ると回数入力画面を表示します	
2.	回数入力画面で【右上】キーを押すと、回数の手入力画面を表示します	
3.	<p>回数の手入力画面で、【↑】／【↓】／【←】／【→】キーを使い該当する数字を選択後【SCAN】(選択)キーを押し、回数を指定します</p> <p>※指定可能な保存回数は <u>1～255</u> です</p>	
4.	<p><b>a) 回数を確定する</b></p> <p>回数の手入力画面で【左上】(確定)キーを押すと、回数を確定し回数入力画面に戻ります</p>	

項番	説明	画面
5.	<p><b>b) 最後に入力した数字を取り消す</b></p> <p>回数の手入力画面で【右上】(1つ消す)キーを押すと、最後に指定した数字を取り消すことができます</p> <p>※【リターン】キーを押すと回数の手入力を中止し回数入力画面に戻ります</p>	

(6) 付加する個数を手入力で行う

付加する個数を手入力で行うには、個数入力画面で次のように操作します。

項番	説明	画面
1.	個数付加設定時にバーコードを読み取ると個数入力画面を表示します	
2.	個数入力画面で【右上】キーを押すと、個数の手入力画面を表示します	
3.	<p>個数の手入力画面で、【↑】/【↓】/【←】/【→】キーを使い該当する数字またはマイナス記号(-)を選択後、【SCAN】(選択)キーを押して個数を指定します</p> <p>※指定可能な個数は-99999~99999です          ※マイナスの個数を入力したいときは、1桁目にマイナス記号(-)を入力した後に数字を入力してください</p>	
4.	<p><b>a) 手入力値を確定する</b></p> <p>個数の手入力画面で【左上】(確定)キーを押すと、個数を確定し個数入力画面に戻ります</p>	

項番	説明	画面
5.	<p><b>b) 最後に入力した文字を取り消す</b></p> <p>個数の手入力画面で【右上】(1つ消す)キーを押すと、最後に指定した文字を取り消すことができます</p> <p>※【リターン】キーを押すと個数の手入力を中止し、個数入力画面に戻ります</p>	
6.	<p><b>c) 個数を承認する</b></p> <p>個数入力のスキャン画面で【SCAN】(承認)キーを押すと、データを送信しスキャン画面に戻ります</p>	
7.	<p><b>d) バーコード送信を中止する</b></p> <p>個数入力のスキャン画面で【左上】(取消)キーあるいは【リターン】キーを押すと、データを送信せずにスキャン画面に戻ります</p>	

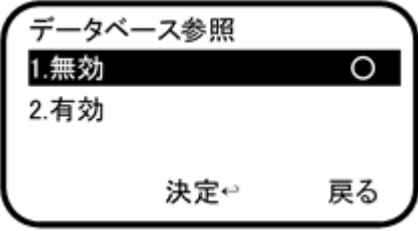
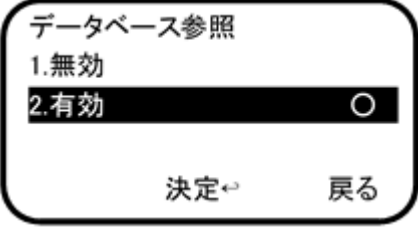


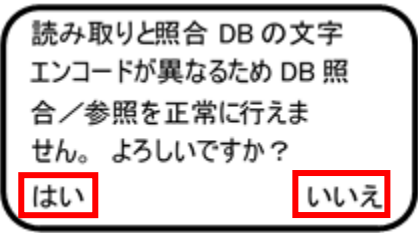
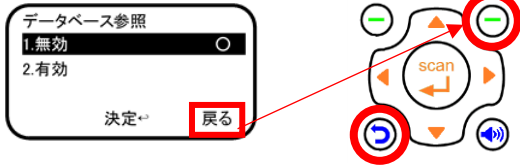
### 4.3.3 データベース参照の設定を行う

読み取ったバーコードが事前に本体に作成しているデータベース(照合DB)に登録されているか確認することができます。

#### (1) 設定方法

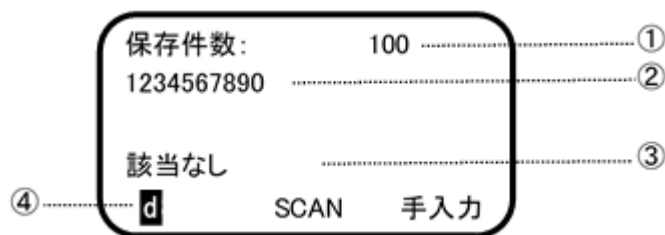
データベース参照の設定は、読み取りモード設定画面で次の操作を行います。

項番	説明	画面
1.	読み取りモード設定画面で「 <b>2. データベース参照</b> 」を選択し【SCAN】(決定)キーを押し、データベース参照画面を表示します	
2.	<p><b>a) 無効にする</b></p> <p>「<b>1. 無効</b>」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します</p>	
3.	<p><b>b) 有効にする</b></p> <p>「<b>2. 有効</b>」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します</p>	

項番	説明	画面
	<p><b>※注意</b>            バーコード読み取り時と照合DBの文字エンコードが異なる設定のときは、確認メッセージを表示します</p> <p>※バーコード読み取り時と照合DBの文字エンコードが異なると、漢字等を含むデータを正常に扱えません</p> <p>【左上】(はい)キーを押すと「有効」に設定します            【右上】(いいえ)キーを押すとデータベース参照設定を中止します</p> <p>照合DBの文字エンコードについては「<a href="#">5.1.3 照合DBを作成する(作成方法を定める)</a>」を参照してください            読み取り時の文字エンコードについては「<a href="#">9.2.7 文字エンコード</a>」を参照してください</p>	
4.	<p>データベース参照画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと読み取りモード設定画面に戻ります</p>	

## (2) 画面説明

データベース参照の設定時、バーコード読み込み直後の画面は次のとおりです。



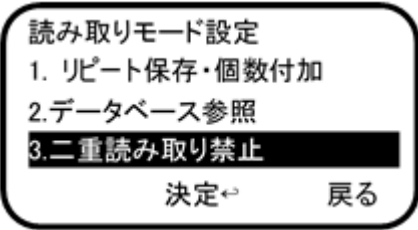
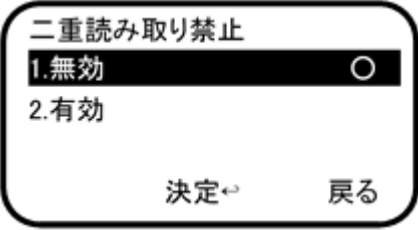
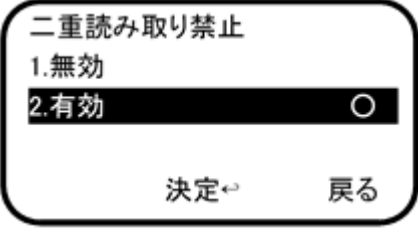
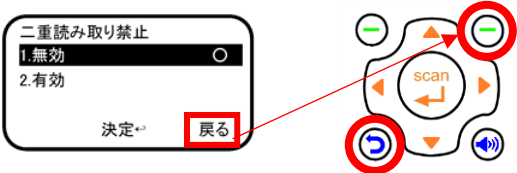
項番	説明
①	本体に保存しているデータ件数を表示します
②	読み取ったバーコードデータを表示します
③	データベース参照結果を表示します データベースに登録済み: データベースに登録されている内容を表示 データベースに未登録: 該当なし
④	読み取りモード設定状態をアイコンで表示します <b>d</b> : データベース参照が「有効」であることを示します

#### 4.3.4 二重読み取り禁止の設定を行う

二重読み取り禁止を「有効」に設定した状態で読み取ったバーコードと同じバーコードの読み取りを禁止することができます。

##### (1) 設定方法

二重読み取り禁止の設定は、読み取りモード設定画面で次の操作を行います。

項番	説明	画面
1.	読み取りモード設定画面で「 <b>3. 二重読み取り禁止</b> 」を選択し【SCAN】(決定)キーを押し、二重読み取り禁止画面を表示します	
2.	<p>a) <u>無効にする</u></p> <p>「<b>1. 無効</b>」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します</p>	
3.	<p>b) <u>有効にする</u></p> <p>「<b>2. 有効</b>」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します</p>	
4.	二重読み取り禁止画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと読み取りモード設定画面に戻ります	

(2) 画面説明

二重読み取り禁止設定時、バーコード読み込み直後の画面は次のとおりです。


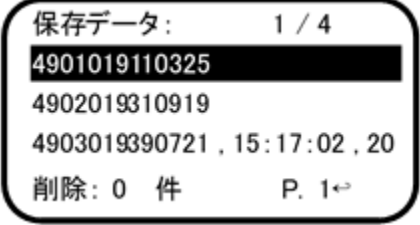
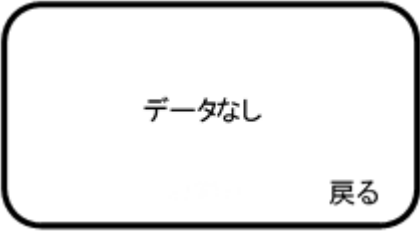
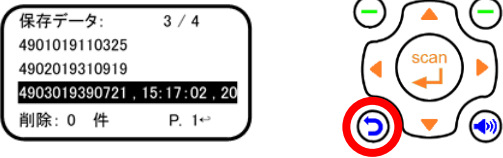


項番	説明
①	本体に保存しているデータ件数を表示します
②	読み取ったバーコードデータを表示します
③	二重読み取り判定結果を表示します 二重読み取りではない: 何も表示しない 二重読み取りである: 二重読み取り!
④	読み取りモード設定状態をアイコンで表示します <b>2</b> : 二重読み取り禁止が「有効」であることを示します

## 4.4 履歴(保存データ)確認

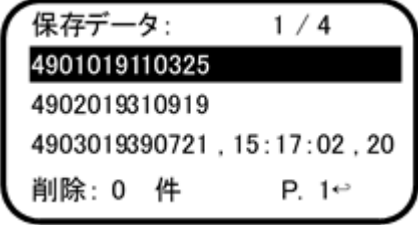
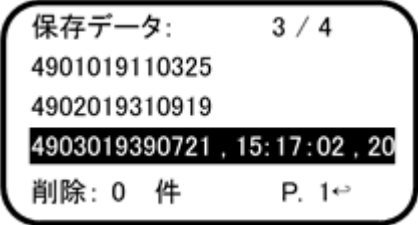
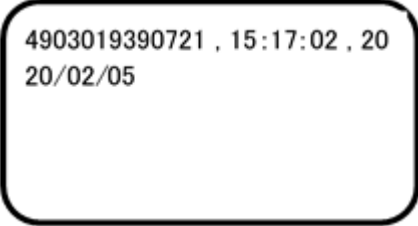
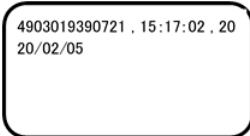

### 4.4.1 履歴(保存データ)確認の開始/終了

履歴(保存データ)確認を開始するには、読み取りモード画面で次の操作を行います。

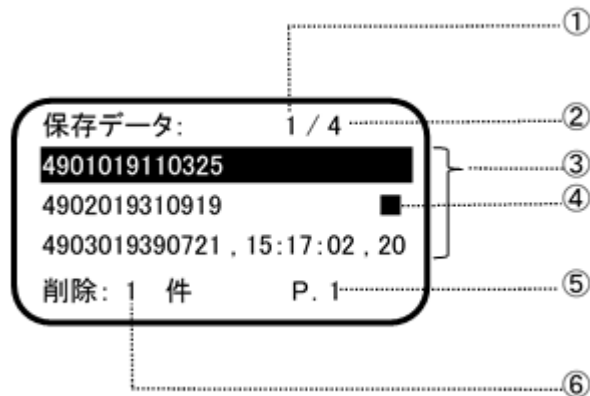
項番	説明	画面
1.	読み取りモード画面で【←】キーを押します	
2.	履歴(保存データ)一覧画面を表示します	
3.	<p>※保存データが1件も存在しなかったときは「データなし」のメッセージを表示します</p> <p>【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと、読み取りモード画面に戻ります</p>	
4.	履歴(保存データ)一覧画面で【リターン】キーを押すと読み取りモード画面に戻ります	

#### 4.4.2 履歴(保存データ)を確認する

##### (1) 操作

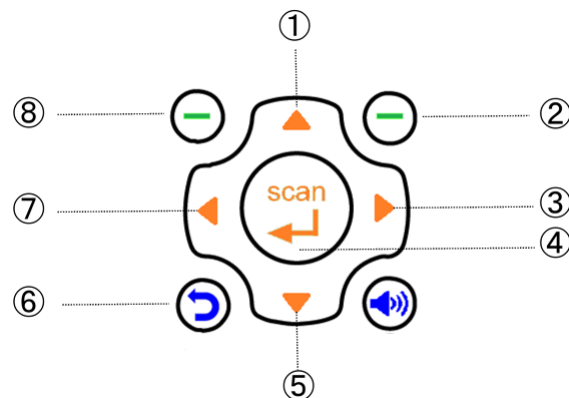
項番	説明	画面
1.	履歴(保存データ)一覧画面で【↑】／【↓】キーを押すと画面をスクロールすることができます	 <p>保存データ: 1 / 4            4901019110325            4902019310919            4903019390721 , 15:17:02 , 20            削除: 0 件 P. 1↔</p>
2.	1行に表示しきれないデータの場合、当該データを選択し【SCAN】キーを押すと全体を表示することができます	 <p>保存データ: 3 / 4            4901019110325            4902019310919            4903019390721 , 15:17:02 , 20            削除: 0 件 P. 1↔</p>
3.	選択したデータの全体を表示します 1画面にすべて表示できないときは【↑】／【↓】キーを押し画面を上下スクロールすることで全体を確認することができます	 <p>4903019390721 , 15:17:02 , 20            20/02/05</p>
4.	全体表示画面で【リターン】キーを押すと履歴(保存データ)一覧画面に戻ります	 

(2) 画面説明



項番	説明
①	現在選択(反転)しているデータの通し番号(1~)を表示します
②	保存しているデータの全件数(削除予約したデータを含みます)を表示します
③	保存しているデータを表示します(1行に1データ表示。1ページに3データ表示)
④	削除予約したデータであることを示します(行の右端に「■」を表示します) ※削除予約データは保存データを MD100Manager から PC へ出力するとき出力対象外になります
⑤	現在表示しているページ番号を表示します
⑥	削除予約したデータの件数を表示します

(3) キー操作説明



項番	説明
①	押す毎に選択行を前のデータに移動します 長押しすると移動を加速します(ページ番号がカウントダウンします)
②	a) 先頭ページを表示する : 【右上】キーを押しながら【↑】キーを同時に押します b) 最終ページを表示する : 【右上】キーを押しながら【↓】キーを同時に押します
③	次ページを表示します(※デフォルト設定時) ※スキャン設定を変更することで全画面表示を行うように変更することもできます



項番	説明
④	選択(反転)したデータの全体を表示します ※全体表示中に【リターン】キーを押すと履歴(保存データ)一覧表示画面に戻ります
⑤	押す毎に選択行を次のデータに移動します 長押しすると移動を加速します(ページ番号がカウントアップします)
⑥	履歴(保存データ)一覧表示を終了し読み取りモード画面に戻ります
⑦	前ページを表示します
⑧	<div data-bbox="300 501 805 705" data-label="Image"> <p>保存データ: 3 / 4            4901019110325            4902019310919            4903019390721, 15:17:02, 20            削除: 0 件 P. 1↔</p> </div> <p>a) <u>選択したデータが削除予約されていない</u>ば、削除確認画面を表示します</p> <div data-bbox="643 842 1066 1066" data-label="Image"> <p>削除しますか?            4903019390721            はい いいえ</p> </div> <p>削除するときは【左上】(はい)キーを、操作を中止するときは【右上】(いいえ)キーを押します</p> <p>b) <u>選択したデータが削除予約されている</u>ば、削除取り消し画面を表示します</p> <div data-bbox="643 1290 1066 1514" data-label="Image"> <p>削除を取り消しますか?            4903019390721            はい いいえ</p> </div> <p>削除を取り消すときは【左上】(はい)キーを、操作を中止するときは【右上】(いいえ)キーを押します</p>

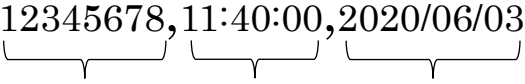
#### (4) 各種付加データの記録順について

データ保存時に付加可能な各種データの記録順は次のとおりです。

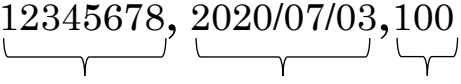
順位	項目名
1.	バーコードデータ(必須)
2.	時刻
3.	日付
4.	個数(読み取りモード時に付加可能)
5.	本体番号
6.	照合情報(照合モード時必須)
7.	バーコードシンボル
8.	DB関連データ

※付加データは指定されたもののみを記録します。以下に例を示します。

例 1) 時刻と日付を指定した場合:

12345678, 11:40:00, 2020/06/03

バーコードデータ      時刻                      日付

例 2) 日付と個数(100 個)を付加指定した場合:

12345678, 2020/07/03, 100

バーコードデータ      日付                      個数

## 5 照合モード

照合モードでは、1対1照合／1対N照合／DB照合の3種類の照合と、DB照合で使用する照合DBの作成を行うことができます。

1対1照合／1対N照合では照合元／照合先の2つのバーコードを読み取り、同じバーコードだったか否かの照合結果を本体に保存します。

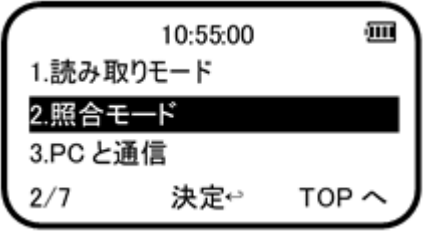
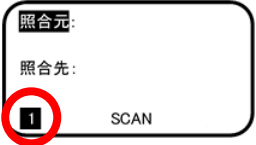



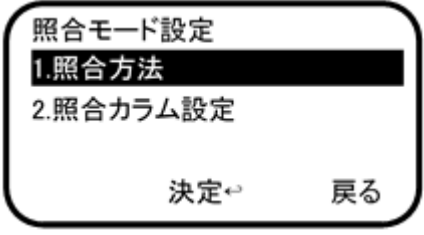
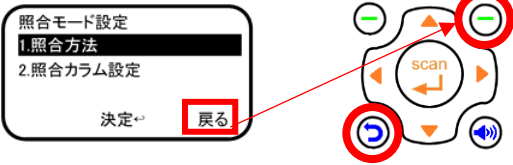
DB照合は、照合元の情報を事前に照合DBとして作成しておき、読み取ったバーコードを照合DB内に登録してあるバーコードデータと照合し、照合結果を本体に保存します。

なお、DB照合で使用する照合DBは、本体で作成する方法と MD100Manager を使用して作成する2つの方法があります(MD100Manager を使用して作成する方法については、MD100Manager のマニュアルを参照してください)。

## 5.1 照合モード設定

### 5.1.1 照合モード設定を開始する

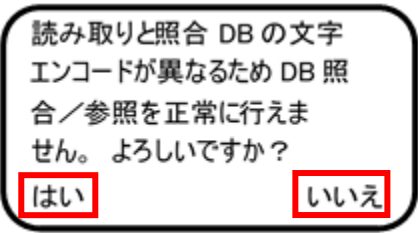
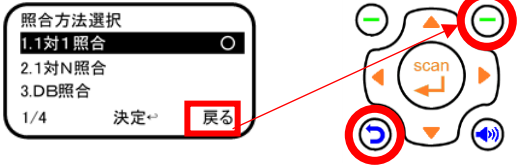
照合モード設定を開始するには、照合モード画面で次の操作を行います。

項番	説明	画面
1.	メインメニューで【↑】／【↓】キーを使用し「2. 照合モード」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、照合モード画面を表示します	
2.	照合モード画面で【→】キーを押します  ※設定中の照合モードにより表示する画面は異なります	<p>▼1対1照合のとき</p>  <p>▼1対N照合のとき</p>  <p>▼DB照合のとき</p>  
3.	照合モード設定画面を表示します ここでは次の設定を行うことができます  1) 照合方法 2) 照合カラム設定	
4.	照合モード設定画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと照合モード画面に戻ります	

## 5.1.2 照合方法(1対1/1対N/DB)を選択する

照合方法(1対1照合/1対N照合/DB照合)を選択するときは、照合モード設定画面で次のように操作します。

項番	説明	画面
1.	照合モード設定画面で「 <b>1. 照合方法</b> 」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、照合方法選択画面を表示します	
2.	<p>a) <u>1対1照合を選択する</u></p> <p>「<b>1. 1対1照合</b>」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します</p>	
3.	<p>b) <u>1対N照合を選択する</u></p> <p>「<b>2. 1対N照合</b>」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します</p>	
4.	<p>c) <u>DB照合を選択する</u></p> <p>「<b>3. DB照合</b>」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します</p>	

項番	説明	画面
	<p><b>※注意</b>            バーコード読み取り時と照合DBの文字エンコードが異なる設定のときは、確認メッセージを表示します</p> <p>※バーコード読み取り時と照合DBの文字エンコードが異なると、漢字等を含むデータを正常に扱えません</p> <p>【左上】(はい)キーを押すと「DB照合」に設定します            【右上】(いいえ)キーを押すと設定せずに照合方法選択画面に戻ります</p> <p>照合DBの文字エンコードについては「<a href="#">5.1.3 照合DBを作成する(作成方法を決める)</a>」を参照してください            読み取り時の文字エンコードについては「<a href="#">9.2.7 文字エンコード</a>」を参照してください</p>	 <p>読み取りと照合 DB の文字エンコードが異なるため DB 照合 / 参照を正常に行えません。よろしいですか？</p> <p>はい                      いいえ</p>
5.	<p>照合方法選択画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと照合モード設定画面に戻ります</p>	 <p>照合方法選択</p> <p>1.1対1照合            2.1対N照合            3.DB照合            1/4      決定←      戻る</p> <p>The diagram shows a central 'scan' button with four directional arrows. Red circles highlight the top-right arrow (pointing to the '戻る' button) and the bottom-left arrow (pointing to the '決定' button).</p>

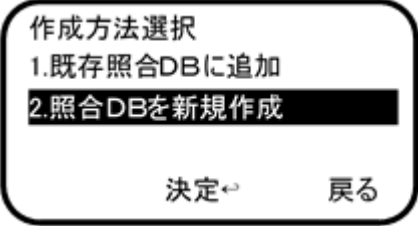
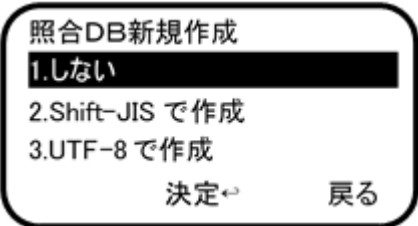
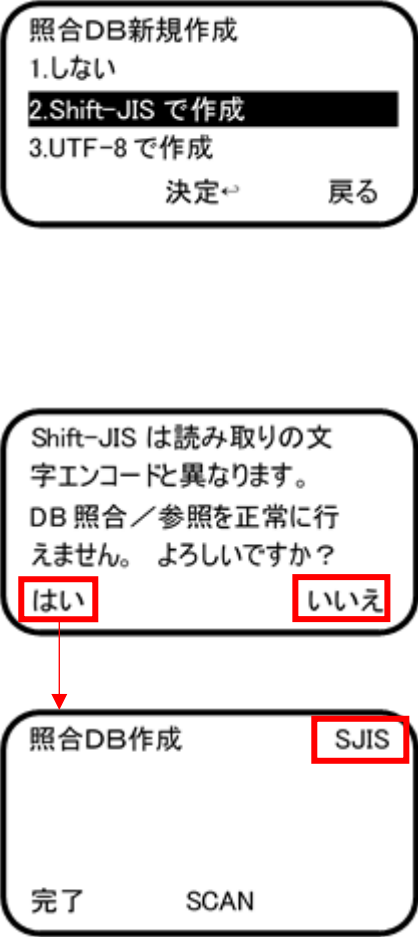
### 5.1.3 照合DBを作成する(作成方法を定める)

照合DBを作成するとき、初めに次の操作で照合DBの作成方法を決定します。

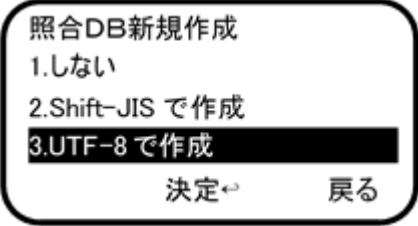
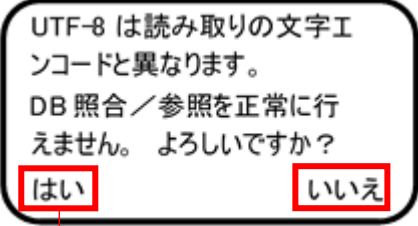

※注意事項:

照合DBは文字エンコード「Shift-JIS」と「UTF-8」に対応しますが、格納できるデータは「Shift-JIS」あるいは「UTF-8」の何れかのデータになります。どちらのデータを格納するかは照合DBを新規作成するときユーザーが決定(項番 4 以降参照)します。

項番	説明	画面
1.	照合モード設定画面で「 <b>1. 照合方法</b> 」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、照合方法選択画面を表示します	
2.	「 <b>4. 照合DB作成</b> 」を選択し【SCAN】(決定)キーを押し、作成方法選択画面を表示します	
3.	<p><b>a) 既存照合DBに追加する</b></p> <p>「<b>1. 既存照合DBに追加</b>」を選択し【SCAN】(決定)キーを押すと、照合DB作成画面を表示します</p> <p>照合DBを「Shift-JIS」で作成しているときは、画面右上に「SJIS」と表示します 照合DBを「UTF-8」で作成しているときは、画面右上に「UTF8」と表示します</p>	<p>・Shift-JIS のとき</p> <p>・UTF-8 のとき</p>

項番	説明	画面
4.	<p><b>b) 照合DBを新規に作成する</b></p> <p>「<b>2. 照合DBを新規作成</b>」を選択し【SCAN】(決定)キーを押し、照合DB新規作成の確認画面を表示します</p>	
5.	<p>「<b>1. しない</b>」を選択し【SCAN】(決定)キーを押すと、新規作成を行わず、作成方法選択画面に戻ります</p>	
6.	<p><b>・文字エンコード「Shift-JIS」で新規作成する</b></p> <p>「<b>2. Shift-JIS で作成</b>」を選択し【SCAN】(決定)キーを押すと、文字エンコード Shift-JIS で照合DBを新規に作成(既存照合DBの内容は空になります)したあと、照合DB作成画面を表示します</p> <p><b>※注意</b>          バーコード読み取り時と照合DBの文字エンコードが異なる設定のときは、確認メッセージを表示します</p> <p>※バーコード読み取り時と照合DBの文字エンコードが異なると、漢字等を含むデータを正常に扱えません</p> <p>【左上】(はい)キーを押すと「Shift-JIS」で照合DBを新規に作成し、照合DB作成画面を表示します</p> <p>【右上】(いいえ)キーを押すと新規作成を行わず、照合DB新規作成画面に戻ります</p> <p>読み取り時の文字エンコードについては「<a href="#">9.2.7 文字エンコード</a>」を参照してください</p>	

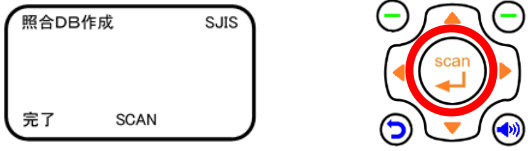
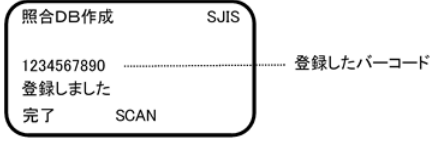
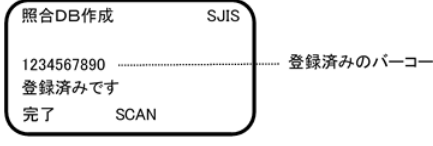
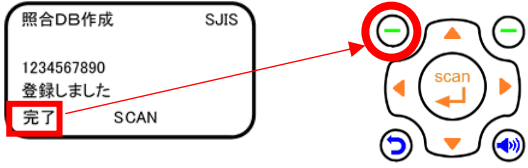
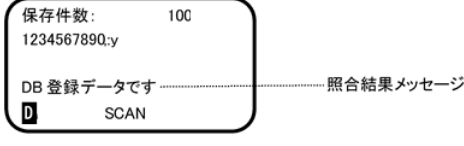


項番	説明	画面
7.	<p><b>・文字エンコード「UTF-8」で新規作成する</b></p> <p>「<b>3. UTF-8 で作成</b>」を選択し【SCAN】(決定)キーを押すと、文字エンコード UTF-8 で照合DBを新規に作成(既存照合DBの内容は空になります)したあと、照合DB作成画面を表示します</p> <p><b>※注意</b>            バーコード読み取り時と照合DBの文字エンコードが異なる設定のときは、確認メッセージを表示します</p> <p>※バーコード読み取り時と照合DBの文字エンコードが異なると、漢字等を含むデータを正常に扱えません</p> <p>【左上】(はい)キーを押すと「UTF-8」で照合DBを新規に作成し、照合DB作成画面を表示します</p> <p>【右上】(いいえ)キーを押すと新規作成を行わず、照合DB新規作成画面に戻ります</p> <p>読み取り時の文字エンコードについては「<a href="#">9.2.7 文字エンコード</a>」を参照してください</p>	  

### 5.1.4 照合DBを作成する(データをDBに登録する)

照合DBの作成方法を決めた後は、次の操作でデータの登録を行います。

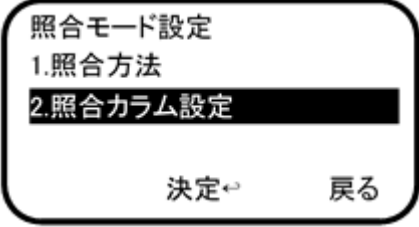
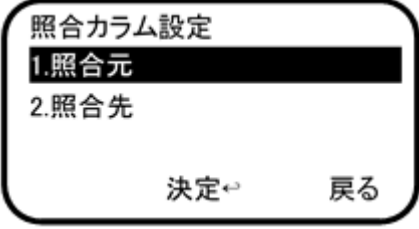
※下記で使用している照合DB作成画面は文字エンコード「Shift-JIS」の照合DBの場合です

項番	説明	画面
1.	照合DB作成画面で【SCAN】キーを押し、照合DBに登録するバーコードを読み取ります	
2.	登録が正常に終了すると画面に「登録しました」のメッセージを表示します	
3.	登録済みのバーコードを読み取ると画面に「登録済みです」のメッセージを表示します	
4.	照合DB作成画面で【左上】(完了)キーを押すと照合DB作成を終了します  ※【左上】(完了)キーを押すまで続けてデータを登録することができます	
5.	DB照合時に本体で登録したデータと一致すると、照合結果メッセージとして「DB登録データです」と表示します	

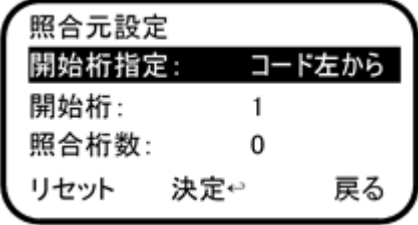
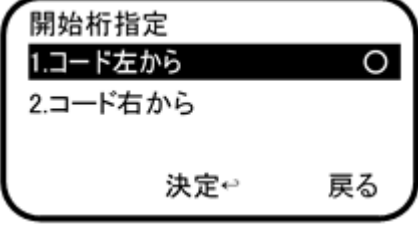
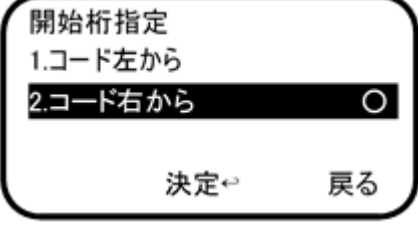
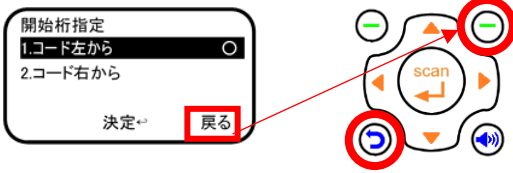
### 5.1.5 照合カラム(照合範囲)を設定する

1対1照合／1対N照合時に使用する照合カラム(照合範囲)を設定するには、次のように操作します。

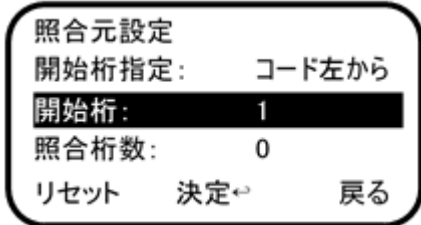
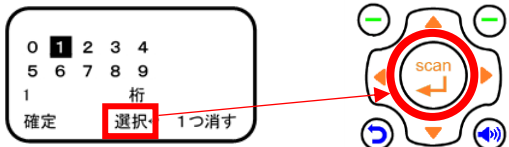
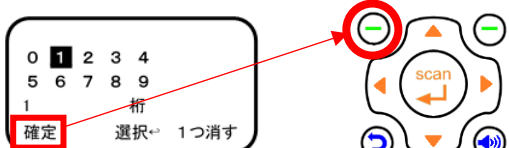
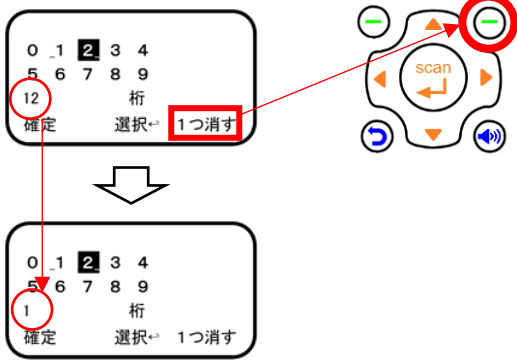
#### (1) 照合カラム (照合範囲) 設定を開始する

項番	説明	画面
1.	照合モード設定画面で「 <b>2. 照合カラム設定</b> 」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、照合カラム設定画面を表示します	
2.	<p>照合カラムの設定は、照合元／照合先のそれぞれで行います  「<b>1. 照合元</b>」／「<b>2. 照合先</b>」のいずれかを選択後【SCAN】(決定)キーを押し、照合元(先)設定画面を表示します</p> <p>※以降では「<b>1. 照合元</b>」を指定した場合の画面を使用し説明します(「<b>2. 照合先</b>」を指定しても操作方法に変わりはありません)</p>	

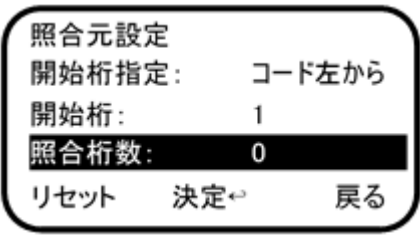
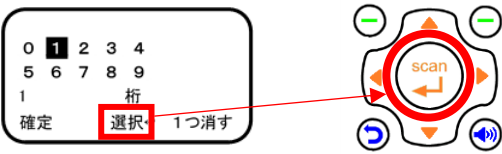
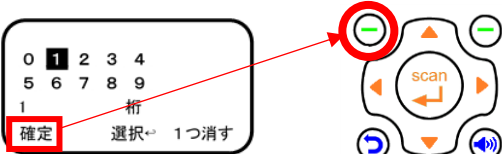
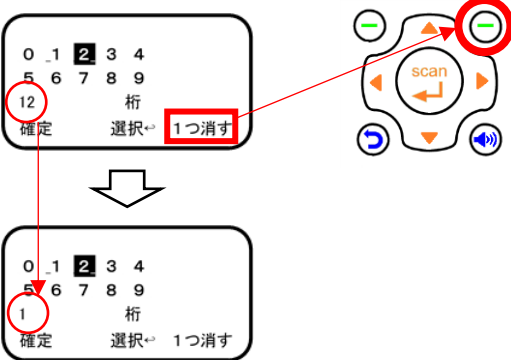
(2) 「開始桁指定」を行う

項番	説明	画面
1.	<p>「開始桁指定」では、開始桁がバーコードの左側から数えた桁位置なのか右側から数えた桁位置なのか指定します</p> <p>照合元(先)設定画面で「<b>開始桁指定:</b>」を選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p>	
2.	<p>開始桁指定画面を表示します</p> <p>開始桁をバーコードの左側から数えた桁位置で指定するときは「<b>1. コード左から</b>」を選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p>	
3.	<p>開始桁をバーコードの右側から数えた桁位置で指定するときは「<b>2. コード右から</b>」を選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p>	
4.	<p>開始桁指定画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと照合元(先)設定画面に戻ります</p>	

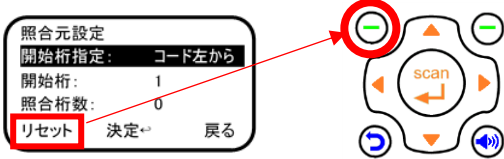
(3) 「開始桁」を指定する

項番	説明	画面
1.	<p>照合を行う開始桁を指定します</p> <p>照合元(先)設定画面で「<b>開始桁:</b>」を選択後【SCAN】(決定)キーを押し、開始桁入力画面を表示します</p>	
2.	<p>開始桁入力画面で、【↑】/【↓】/【←】/【→】キーを使い該当する数字を選択後【SCAN】(選択)キーを押し、開始桁を入力します</p> <p>※指定可能な開始桁は <u>1~999</u> です</p>	
3.	<p><b>a) 開始桁を確定する</b></p> <p>開始桁入力画面で【左上】(確定)キーを押すと、開始桁を確定し照合元(先)設定画面に戻ります</p>	
4.	<p><b>b) 最後に入力した数字を取り消す</b></p> <p>開始桁入力画面で【右上】(1つ消す)キーを押すと、最後に指定した数字を取り消すことができます</p> <p>※【リターン】キーを押すと開始桁入力を中止し照合元(先)設定画面に戻ります</p>	

(4) 「照合桁数」を指定する

項番	説明	画面
1.	<p>照合を行う桁数を指定します</p> <p>照合元(先)設定画面で「<b>照合桁数:</b>」を選択後【SCAN】(決定)キーを押し、照合桁数入力画面を表示します</p>	
2.	<p>照合桁数入力画面で、【↑】/【↓】/【←】/【→】キーを使い該当する数字を選択後【SCAN】(選択)キーを押し、照合桁数を入力します</p> <p>※指定可能な照合桁数 <u>0~999</u> です          ※照合桁数に「0」を指定すると、開始桁で指定した桁以降すべてのデータが照合対象になります</p>	
3.	<p><b>a) 照合桁数を確定する</b></p> <p>照合桁数入力画面で【左上】(確定)キーを押すと、照合桁数を確定し照合元(先)設定画面に戻ります</p>	
4.	<p><b>b) 最後に入力した数字を取り消す</b></p> <p>照合桁数入力画面で【右上】(1つ消す)キーを押すと、最後に指定した数字を取り消すことができます</p> <p>※【リターン】キーを押すと照合桁数入力を中止し照合元(先)設定画面に戻ります</p>	

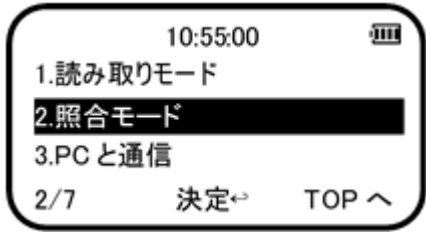

(5) 初期状態に戻す

項番	説明	画面						
1.	<p>照合元(先)設定画面で【左上】(リセット)キーを押すと、照合元(先)設定の内容を初期値に戻します</p> <p>※初期値は次のとおりです</p> <table data-bbox="300 555 742 683"><tr><td>開始桁指定:</td><td>コード左から</td></tr><tr><td>開始桁:</td><td>1</td></tr><tr><td>照合桁数:</td><td>0</td></tr></table>	開始桁指定:	コード左から	開始桁:	1	照合桁数:	0	
開始桁指定:	コード左から							
開始桁:	1							
照合桁数:	0							

## 5.2 1対1照合の操作

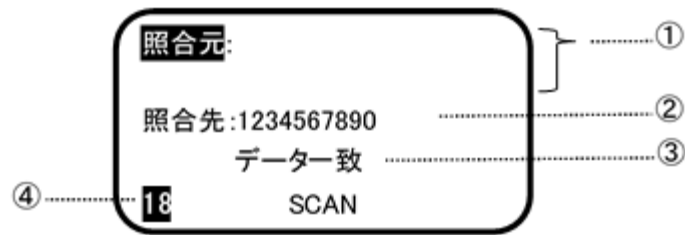
### (1) 照合モードを開始する

1対1照合を開始するには、次の操作を行います（※事前に照合方法として「1対1」に設定しておく必要があります。設定方法については「5.1 照合モード設定」を参照してください）。

項番	説明	画面
1.	メインメニューで【↑】／【↓】キーを使用し「2. 照合モード」選択後【SCAN】（決定）キーを押します	 A screenshot of a handheld device's main menu. At the top, it shows the time '10:55:00' and a battery icon. The menu items are: '1. 読み取りモード', '2. 照合モード' (highlighted with a black bar), '3. PCと通信'. At the bottom, it shows '2/7', '決定↔', and 'TOPへ'.
2.	照合モード画面を表示します  照合方法が「1対1」のときは、画面左下に「1」のアイコンを表示します	 A screenshot of the 1-to-1 matching screen. It shows '照合元:' and '照合先:' labels. At the bottom left, there is a small square icon with the number '1' inside, which is circled in red. To the right of this icon is the word 'SCAN'.

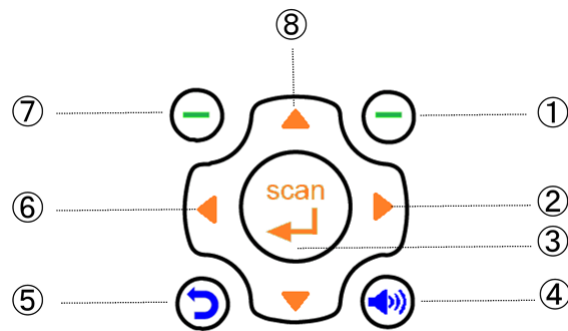


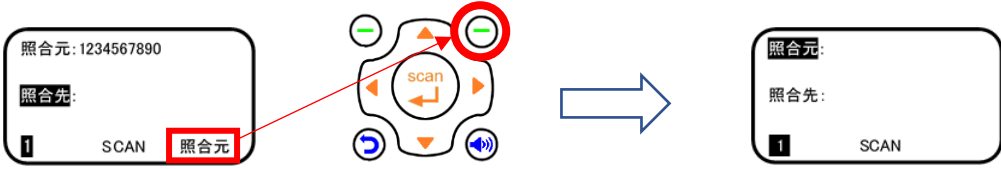
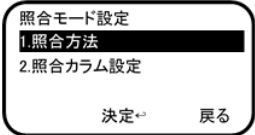
(2) 画面説明



項番	説明
①	<p>読み取った照合元のバーコードデータを表示します                      タイトル文字「<b>照合元</b>」が反転表示のときは、照合元読み取り待ち状態を示します</p> <p>照合元データを読み取ると照合情報として「:s」をバーコードデータに付加して保存します                      照合情報の記録順については「<a href="#">4.4.2 (4)各種付加データの記録順について</a>」を参照してください</p>
②	<p>読み取った照合先のバーコードデータを表示します                      タイトル文字「<b>照合先</b>」が反転表示のときは、照合先読み取り待ち状態を示します</p> <p>照合先データを読み取ると照合情報として「:y」(照合一致のとき)あるいは「:n」(照合不一致のとき)をバーコードデータに付加して保存します                      照合情報の記録順については「<a href="#">4.4.2 (4)各種付加データの記録順について</a>」を参照してください</p>
③	<p>照合結果を表示します</p> <p>一致のとき:     データ一致</p> <p>不一致のとき:   ◆◆不一致◆◆</p>
④	<p>照合モード設定状態をアイコンで表示します</p> <p><b>1</b> : 1対1照合であることを示します</p> <p><b>8</b> : 文字エンコードが「UTF-8」であることを示します(非表示のときは「Shift-JIS」です)</p>

(3) キー操作説明



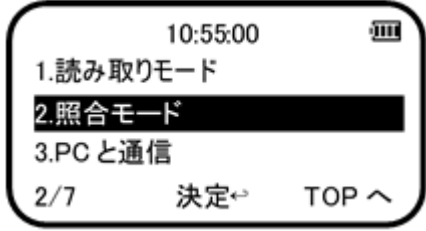

項番	説明
①	 <p>読み取り待ち状態を、「照合先」から「照合元」に変更します</p>
②	<p>照合モード設定画面を表示します</p>  <p>照合モード設定では次のことを行うことができます</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 照合方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>・照合方法を、1対1、1対N、DB照合の何れかに切り替えることができます</li> <li>・照合DB作成を本体で行うことができます</li> </ul> </li> <li>2) 照合カラム設定 <ul style="list-style-type: none"> <li>・照合元および照合先の照合カラム(照合範囲)指定を行います</li> </ul> </li> </ol>
③	<p>バーコードを読み取ります(※オートスキャン(連続照射)／ハンズフリー時は除きます)</p> <p>「照合元」のバーコードを読み取ると、「照合先」バーコードの読み取り待ち状態になります</p> <p>「照合先」のバーコードを読み取り照合結果が一致すると、「照合元」バーコードの読み取り待ち状態になり、不一致だと「照合先」バーコードの読み取り待ち状態になります</p>
④	<p>ビープ音を変更します</p> <p>押すごとに、大→中→小→OFF、の順でビープ音を変更します</p>
⑤	<p>照合モードを終了しメインメニューに戻ります</p>
⑥	<p>履歴(保存データ)一覧画面を表示します</p>
⑦	<p>スキャン方法がオートスキャン(連続照射)のときは【リターン】キーを除き他のキー操作を受けつけませんが、本キーを押した状態で他のキーを押すことで希望する操作を行うことができますようになります</p>

項番	説明
⑧	<p>現在設定している、照合カラムの内容を表示します</p> <div data-bbox="268 273 523 412" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;"><p>照合元: 左から:1~0 桁分 照合先: 左から:1~0 桁分</p><p><b>1</b>      SCAN</p></div>

### 5.3 1対N照合の操作

#### (1) 照合モードを開始する

1対N照合を開始するには、次の操作を行います(※事前に照合方法として「1対N」に設定しておく必要があります。設定方法については「[5.1 照合モード設定](#)」を参照してください)。

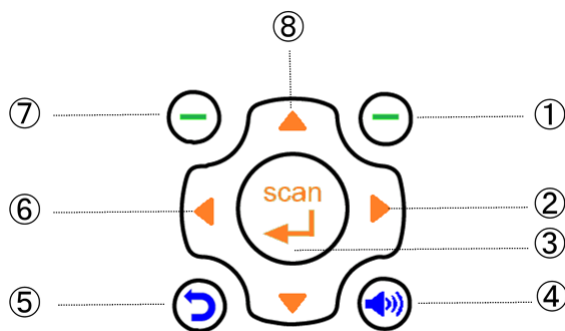
項番	説明	画面
1.	たメインメニューで【↑】／【↓】キーを使用し「2. 照合モード」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	 A screenshot of a handheld device's main menu. At the top, the time is 10:55:00 and there is a battery icon. The menu items are: 1. 読み取りモード, 2. 照合モード (highlighted with a black bar), 3. PCと通信. At the bottom, it shows '2/7', '決定↔', and 'TOP ^'.
2.	照合モード画面を表示します  照合方法が「1対N」のときは、画面左下に「N」のアイコンを表示します	 A screenshot of the matching mode screen. It shows '照合元:' and '照合先:' fields. At the bottom left, there is a small square icon containing the number '1', which is circled in red. To its right is the word 'SCAN' followed by a dashed line.

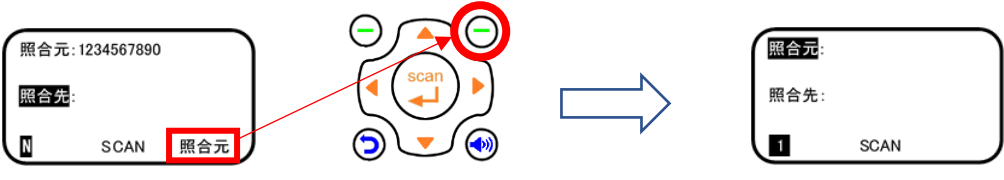
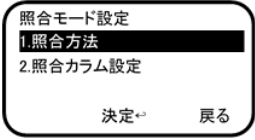
(2) 画面説明



項番	説明
①	<p>読み取った照合元のバーコードデータを表示します                      タイトル文字「<b>照合元</b>」が反転表示のときは、照合元読み取り待ち状態を示します</p> <p>照合元データを読み取ると照合情報として「:s」をバーコードデータに付加して保存します                      照合情報の記録順については「<a href="#">4.4.2 (4)各種付加データの記録順について</a>」を参照してください</p>
②	<p>読み取った照合先のバーコードデータを表示します                      タイトル文字「<b>照合先</b>」が反転表示のときは、照合先読み取り待ち状態を示します</p> <p>照合先データを読み取ると照合情報として「:y」(照合一致のとき)あるいは「:n」(照合不一致のとき)をバーコードデータに付加して保存します                      照合情報の記録順については「<a href="#">4.4.2 (4)各種付加データの記録順について</a>」を参照してください</p>
③	<p>照合結果を表示します</p> <p>一致のとき:     データ一致</p> <p>不一致のとき:   ◆◆不一致◆◆</p>
④	<p>照合モード設定状態をアイコンで表示します</p> <p><b>N</b> : 1対N照合であることを示します</p> <p><b>8</b> : 文字エンコードが「UTF-8」であることを示します(非表示のときは「Shift-JIS」です)</p>

(3) キー操作説明



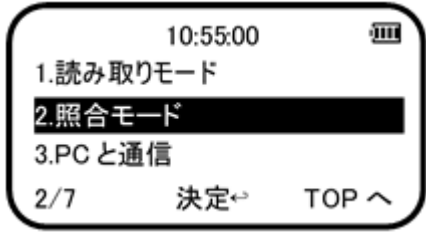

項番	説明
①	 <p>読み取り待ち状態を、「照合先」から「照合元」に変更します</p>
②	<p>照合モード設定画面を表示します</p>  <p>照合モード設定では次のことを行うことができます</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 照合方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>・照合方法を、1対1、1対N、DB照合の何れかに切り替えることができます</li> <li>・照合DB作成を本体で行うことができます</li> </ul> </li> <li>2) 照合カラム設定 <ul style="list-style-type: none"> <li>・照合元および照合先の照合カラム(照合範囲)指定を行います</li> </ul> </li> </ol>
③	<p>バーコードを読み取ります(※オートスキャン(連続照射)／ハンズフリー時は除きます)</p> <p>「照合元」のバーコードを読み取ると、「照合先」バーコードの読み取り待ち状態になります</p> <p>「照合先」のバーコードを読み取ると、次に照合する「照合先」バーコードの読み取り待ち状態になります</p>
④	<p>ビープ音を変更します</p> <p>押すごとに、大→中→小→OFF、の順でビープ音を変更します</p>
⑤	<p>照合モードを終了しメインメニューに戻ります</p>
⑥	<p>履歴(保存データ)一覧画面を表示します</p>
⑦	<p>スキャン方法がオートスキャン(連続照射)のときは【リターン】キーを除き他のキー操作を受けつけませんが、本キーを押した状態で他のキーを押すことで希望する操作を行うことができます</p>

項番	説明
⑧	<p>現在設定している、照合カラムの内容を表示します</p> <div data-bbox="268 271 523 409" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;"><p>照合元: 左から:1~0 桁分 照合先: 左から:1~0 桁分</p><p><b>N</b>      SCAN</p></div>

## 5.4 DB照合の操作

### (1) 照合モードを開始する

DB照合を開始するには、次の操作を行います（※事前に照合方法として「DB照合」に設定しておく必要があります。設定方法については「5.1 照合モード設定」を参照してください）。

項番	説明	画面
1.	メインメニューで【↑】／【↓】キーを使用し「2. 照合モード」選択後【SCAN】（決定）キーを押します	 A screenshot of a handheld device's main menu. At the top, the time is 10:55:00 and there is a battery icon. The menu items are: 1. 読み取りモード, 2. 照合モード (highlighted with a black bar), 3. PCと通信. At the bottom, it shows '2/7', '決定↔', and 'TOP ^'.
2.	照合モード画面を表示します  照合方法が「DB照合」のときは、画面左下に「D」のアイコンを表示します	 A screenshot of the matching mode screen. It shows '照合元:' and '照合先:'. At the bottom, there are three options: 'D' (circled in red), 'SCAN', and '照合元'.

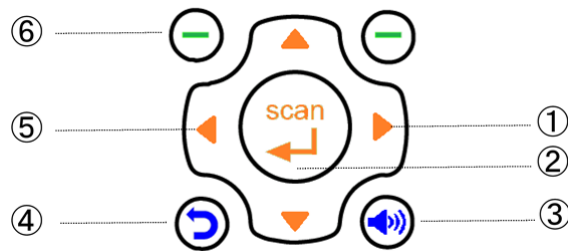


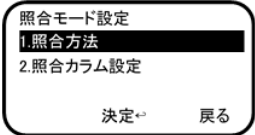
(2) 画面説明



項番	説明
①	本体に保存しているデータ件数を表示します
②	読み取ったバーコードデータを表示します  バーコードを読み取ると照合情報として「:y」(照合一致のとき)あるいは「:n」(照合不一致のとき)をバーコードデータに付加して保存します 照合情報の記録順については「4.4.2 (4)各種付加データの記録順について」を参照してください
③	照合結果を表示します 一致のとき: 照合DBに登録されている内容を表示 不一致のとき: ◆◆不一致◆◆
④	照合モード設定状態をアイコンで表示します <b>D</b> : DB照合であることを示します <b>8</b> : 文字エンコードが「UTF-8」であることを示します(非表示のときは「Shift-JIS」です)

(3) キー操作説明





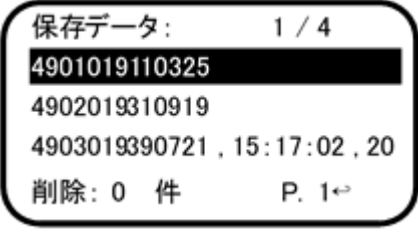
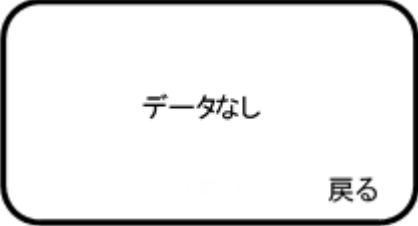




項番	説明
①	<p>照合モード設定画面を表示します</p>  <p>照合モード設定では次のことを行うことができます</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 照合方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>・照合方法を、1対1、1対N、DB照合の何れかに切り替えることができます</li> <li>・照合DB作成を本体で行うことができます</li> </ul> </li> <li>2) 照合カラム設定 <ul style="list-style-type: none"> <li>・照合元および照合先の照合カラム(照合範囲)指定を行います</li> </ul> </li> </ol>
②	<p>バーコードを読み取ります(※オートスキャン(連続照射)／ハンズフリー時は除きます)</p>
③	<p>ビープ音を変更します          押すごとに、大→中→小→OFF、の順でビープ音を変更します</p>
④	<p>照合モードを終了しメインメニューに戻ります</p>
⑤	<p>履歴(保存データ)一覧画面を表示します</p>
⑥	<p>スキャン方法がオートスキャン(連続照射)のときは【リターン】キーを除き他のキー操作を受けつけませんが、本キーを押した状態で他のキーを押すことで希望する操作を行うことができます</p>

## 5.5 履歴(保存データ)確認

### 5.5.1 履歴(保存データ)確認の開始/終了

履歴(保存データ)確認を開始するには、照合モード画面で次の操作を行います。

項番	説明	画面
1.	照合モード画面で【←】キーを押します  ※設定中の照合モードにより表示する画面は異なります	<p>▼1対1照合のとき</p>  <p>▼1対N照合のとき</p>  <p>▼DB照合のとき</p>  
2.	履歴(保存データ)一覧画面を表示します	
3.	※保存データが1件も存在しなかったときは「データなし」のメッセージを表示します  【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと、読み取りモード画面に戻ります	
4.	履歴(保存データ)一覧画面で【リターン】キーを押すと照合モード画面に戻ります	 

## 5.5.2 履歴(保存データ)を確認する

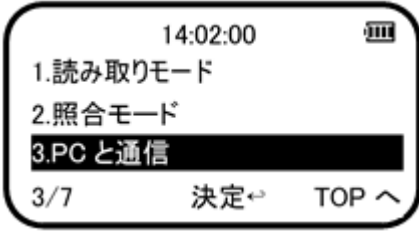
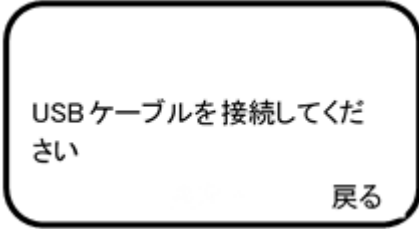
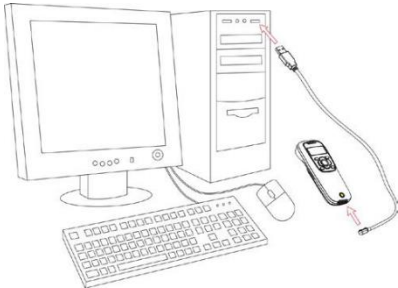

確認方法は読み取りモードにおける操作と同じです。

操作方法については「[4.4.2 履歴\(保存データ\)を確認する](#)」を参照してください。

## 6 PC と通信

本体と PC を専用の USB ケーブルで接続することで、PC にインストール済みの MD100Manager を使用し本体に格納している保存データを PC に出力することができるようになります。また、MD100Manager で本体設定を変更することも可能となります (MD100Manager については MD100Manager のマニュアルを参照してください)。

PC と通信を行うには、次のようにします。

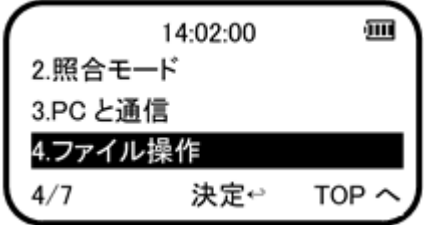
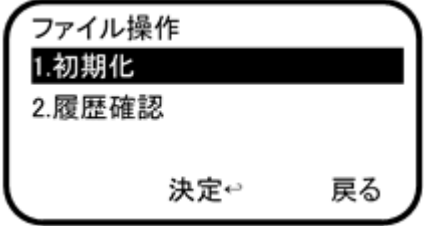
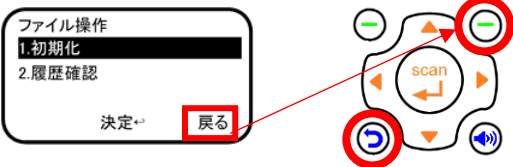
項番	説明	画面
1.	メインメニューで【↑】／【↓】キーを使用し「3. PC と通信」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	 <p>14:02:00 1.読み取りモード 2.照合モード 3.PC と通信 3/7 決定← TOPへ</p>
2.	USB ケーブル接続待ち画面を表示します  【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとメインメニューに戻ります	 <p>USB ケーブルを接続してください 戻る</p>
3.	接続待ち画面が表示された状態で、専用の USB ケーブルを使い本体と PC を接続します  MD100Manager を PC 側で起動しておく必要があります  MD100Manager については、MD100Manager のマニュアルを参照ください	
4.	USB 接続画面を表示します  <b>注意事項:</b> 接続解除するには、必ず MD100Manager の【接続解除】ボタンを押し接続解除後に USB ケーブルを取り外してください USB ケーブルを取り外すとメインメニューに戻ります  接続状態で USB ケーブルを取り外すと、本体に保存しているデータ(読み取りデータや設定内容)が壊れることがあるため絶対に行わないでください	

## 7 ファイル操作

ファイル操作では、ファイルの初期化と本体に保存しているデータの内容確認を行うことができます。

### 7.1 ファイル操作を開始する

ファイル操作を開始するには、次のように行います。

項番	説明	画面
1.	メインメニューで【↑】／【↓】キーを使用し「4. <b>ファイル操作</b> 」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	 A screenshot of a handheld device's main menu. At the top, the time is 14:02:00 and there is a battery icon. The menu items are: 2. 照合モード, 3. PCと通信, 4. ファイル操作 (highlighted with a black bar), and 4/7. At the bottom, there are buttons for '決定' (Enter) and 'TOP' with a right arrow.
2.	ファイル操作画面を表示します	 A screenshot of the 'ファイル操作' (File Operation) screen. The title is 'ファイル操作'. The menu items are: 1. 初期化 (highlighted with a black bar) and 2. 履歴確認. At the bottom, there are buttons for '決定' (Enter) and '戻る' (Back).
3.	ファイル操作画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとメインメニューに戻ります	 A diagram illustrating the navigation process. On the left is a screenshot of the 'ファイル操作' screen with the '戻る' (Back) button highlighted in a red box. A red arrow points from this box to a directional pad on the right. The directional pad has four arrow keys (up, down, left, right) and a central 'scan' key. The 'scan' key and the right arrow key are circled in red, indicating they are the keys used to return to the main menu.

## 7.2 ファイルの初期化を行う

ファイルの初期化を行うと、本体に保存している次のデータの内容をすべてクリアします。

※本体に保存しているデータが不要となったときは、安定運用を目的にその都度ファイルの初期化を行うことを推奨します

- ・読み取りおよび照合結果データ(削除予約データ含む)
- ・照合DB ※読み取り時と同じ文字エンコード(「9.1 設定項目一覧 項番 7」参照)になります
- ・二重読み取り判定用データ

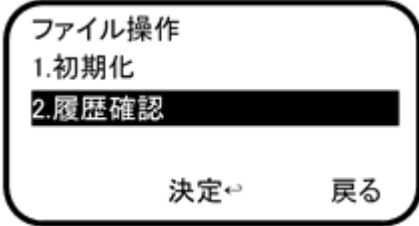
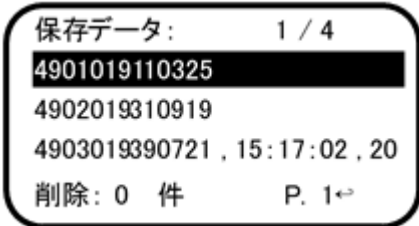
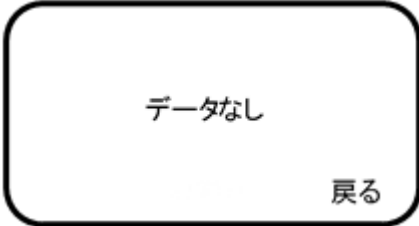
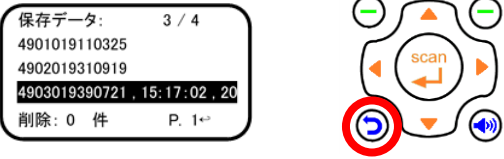
ファイルの初期化は、次の操作で行います。

項番	説明	画面
1.	ファイル操作画面で【↑】／【↓】キーを使用し「1. 初期化」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、ファイルの初期化画面を表示します	
2.	<p>・初期化を中止するとき</p> ファイルの初期化画面で【↑】／【↓】キーを使用し「1. しない」選択後【SCAN】(決定)キーを押します 初期化を行わずファイル操作画面に戻ります	
3.	<p>・初期化を行うとき</p> ファイルの初期化画面で【↑】／【↓】キーを使用し「2. する」選択後【SCAN】(決定)キーを押します 初期化が終了するとファイル操作画面に戻ります	
4.	ファイルの初期化画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとファイル操作画面に戻ります	

### 7.3 履歴(保存データ)を確認する

#### ・履歴(保存データ)確認の開始／終了

履歴(保存データ)確認を開始するには、次の操作を行います。

項番	説明	画面
1.	ファイル操作画面で【↑】／【↓】キーを使用し「2.履歴確認」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
2.	履歴(保存データ)一覧画面を表示します	
3.	※保存データが1件も存在しなかったときは「データなし」のメッセージを表示します  【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと、読み取りモード画面に戻ります	
4.	履歴(保存データ)一覧画面で【リターン】キーを押すとファイル操作画面に戻ります	

#### ・履歴(保存データ)を確認する

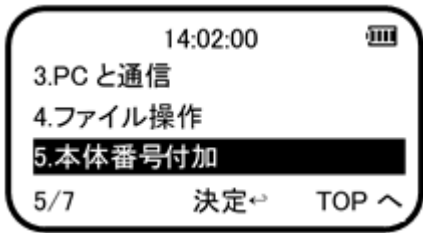
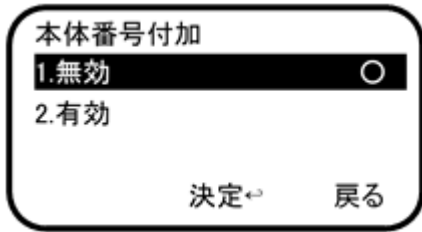
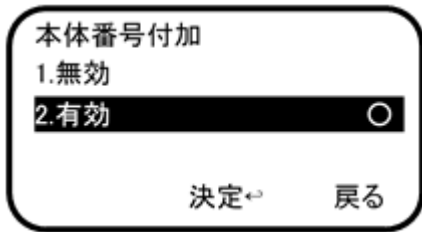
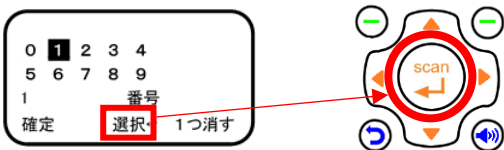
確認方法は読み取りモードにおける操作と同じです。  
操作方法については「4.4.2 履歴(保存データ)を確認する」を参照してください。



## 8 本体番号付加

本体番号付加を指定することで、読み取ったバーコードデータに指定した本体番号を付加することができるようになります。

本体番号を付加するには、次の操作を行います。

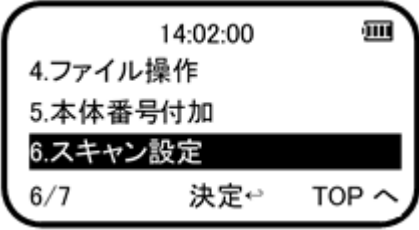

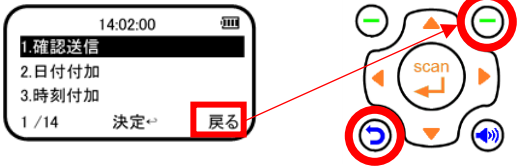
項番	説明	画面
1.	メインメニューで【↑】／【↓】キーを使用し「5. 本体番号付加」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、本体番号付加画面を表示します	
2.	<p><b>a) 本体番号を付加しない(付加解除)</b></p> <p>本体番号付加画面で【↑】／【↓】キーを使用し「1. 無効」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p>	
3.	<p><b>b) 本体番号を付加する</b></p> <p>本体番号付加画面で【↑】／【↓】キーを使用し「2. 有効」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、本体番号入力画面を表示します</p> <p>本体番号の記録順については「4.4.2 (4)各種付加データの記録順について」を参照してください</p>	
4.	<p>本体番号入力画面で、【↑】／【↓】／【←】／【→】キーを使い該当する数字を選択後【SCAN】(選択)キーを押し、本体番号を指定します</p> <p>※指定可能な本体番号は <u>1～999</u> です</p>	

項番	説明	画面
5.	<p><b>c) 本体番号を確認する</b></p> <p>本体番号入力画面で【左上】(確定)キーを押すと、本体番号を確認し本体番号付加画面に戻ります</p> <p>※先頭行の右端に確定した本体番号を表示します</p>	
6.	<p><b>d) 最後に入力した数字を取り消す</b></p> <p>本体番号入力画面で【右上】(1つ消す)キーを押すと、最後に指定した数字を取り消すことができます</p> <p>※【リターン】キーを押すと本体番号入力を中止し本体番号付加画面に戻ります</p>	

## 9 スキャン設定

スキャン設定では、日時、ビープ音、パイプあるいはスリープ時間等の本体に関するや設定やバーコード読み取り時における各種設定を行うことができます。

スキャン設定メニューを表示するには、次の操作を行います。

項番	説明	画面
1.	メインメニューで【↑】／【↓】キーを使用し「6. スキャン設定」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
2.	スキャン設定メニューを表示します	
3.	スキャン設定メニューで【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとメインメニューに戻ります	

## 9.1 設定項目一覧

スキャン設定では次の項目を設定することができます。

項番	項目名	内容
1.	確認送信	確認送信を「有効」に設定すると、バーコード読み取り後に承認問い合わせを行うことができます ※【SCAN】(承認)キーを押すまで処理を中断します
2.	日付付加	読み取りあるいは照合時の日付を付加してバーコードデータを保存します
3.	時刻付加	読み取りあるいは照合時の時刻を付加してバーコードデータを保存します
4.	時刻・日付設定	本体の時刻あるいは日付を設定します
5.	バーコードシンボル付加	読み取ったバーコードのシンボル名を付加してバーコードデータを保存します
6.	スキャン方法	スキャン方法を設定します 設定できるスキャン方法は次のとおりです ・トリガーモード ・グッドリード ・オートスキャン(1Dモデルのみ対応)
7.	文字エンコード	読み取り対象バーコードの文字エンコードを指定します 設定できる文字エンコードは次のとおりです ・Shift-JIS ・UTF-8
8.	画面・スリープ設定	スリープ設定、バックライト点灯時間、履歴閲覧時に履歴(保存データ)一覧画面での【←】/【→】キー押下時の動作を設定します
9.	ビープ音設定	ビープ音(大/中/小/なし)を設定します
10.	バイブ設定	バイブの有無を設定します
11.	設定の初期化	時刻・日付設定を除きスキャン設定の内容を初期化します
12.	バーコードを「”」で囲む	読み込んだバーコードデータを「”」(ダブルクォート)で囲むか否かを指定します
13.	読み取りモード設定	読み取りモードに関する項目を設定します 設定できる項目は次のとおりです ・リピート保存・個数付加 ・データベース参照 ・二重読み取り禁止
14.	照合モード設定	照合モードに関する項目を設定します 設定できる項目は次のとおりです ・照合方法 ・照合カラム設定
15.	DB 関連データ付加	データベース参照を「有効」に設定しバーコードを読み取った時や、DB照合を行った時に、照合 DB に登録している関連データを付加してバーコードデータを保存します  ※本体で照合 DB に登録したバーコードの関連データは「DB 登録データです」固定になります MD100Manager で照合 DB を作成したときの関連データは照合 DB 作成元ファイル(CSV)に定義された内容になります

## 9.2 項目毎の設定方法

### 9.2.1 確認送信


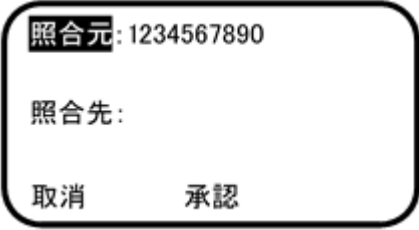

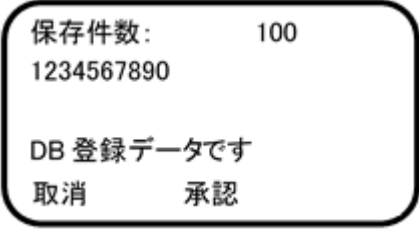
#### (1) 設定方法

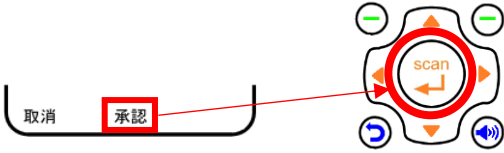
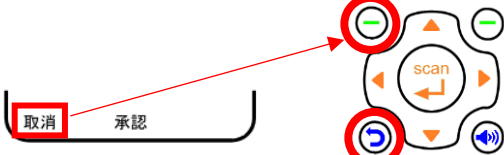
確認送信の「有効」／「無効」の設定は、次の操作で行います。

項番	説明	画面
1.	スキャン設定メニューで【↑】／【↓】キーを使用し「1. 確認送信」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、確認送信画面を表示します	
2.	<b>a) 無効にする</b> 確認送信画面で【↑】／【↓】キーを使用し「1. 無効」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
3.	<b>b) 有効にする</b> 確認送信画面で【↑】／【↓】キーを使用し「2. 有効」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
4.	確認送信画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとスキャン設定メニューに戻ります	


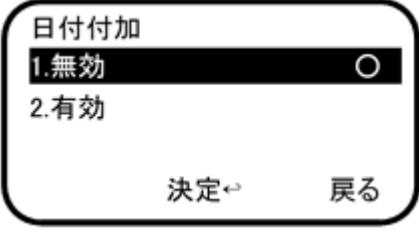
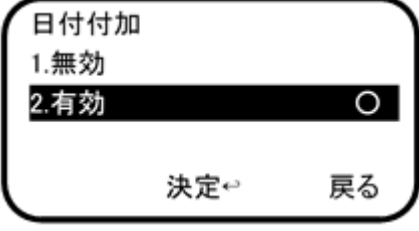
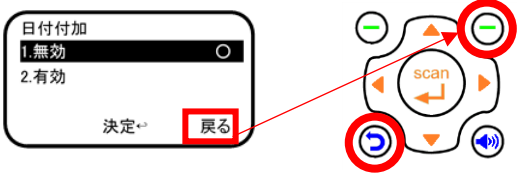
## (2) 操作方法

確認送信の「有効」に設定されたときの承認確認は、次の操作で行います。

項番	説明	画面
1.	確認送信が「有効」のときにバーコードを読み取ると、それぞれのモードにおいて承認確認画面を表示します	<p>▼読み取りのとき</p>  <p>▼照合元(1対1/1対N照合)のとき</p>  <p>▼照合先(1対1/1対N照合)のとき</p>  <p>▼DB照合のとき</p> 

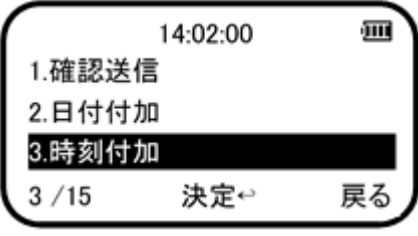
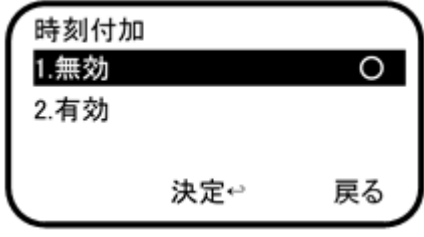
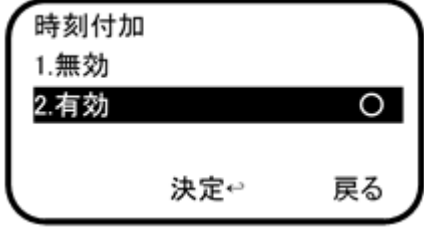
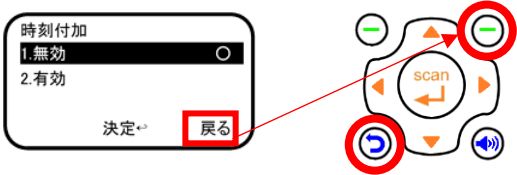
項番	説明	画面
2.	承認確認画面で【SCAN】(承認)キーを押すと、次のバーコード入力画面を表示します	 <p>The diagram shows a control panel with a central 'scan' button and four directional arrow buttons. To the left, there are two buttons labeled '取消' (Cancel) and '承認' (Confirm). A red box highlights the '承認' button, and a red arrow points from it to the central 'scan' button on the control panel.</p>
3.	承認確認画面で【右上】(取消)キーあるいは【リターン】キーを押すと、バーコードの読み取りを破棄します	 <p>The diagram shows the same control panel as in the previous row. A red box highlights the '取消' button, and a red arrow points from it to the top-right directional arrow button on the control panel.</p>

## 9.2.2 日付付加

項番	説明	画面
1.	スキャン設定メニューで【↑】／【↓】キーを使用し「2. 日付付加」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、日付付加画面を表示します	
2.	<b>a) 無効にする</b>  日付付加画面で【↑】／【↓】キーを使用し「1. 無効」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
3.	<b>b) 有効にする</b>  日付付加画面で【↑】／【↓】キーを使用し「2. 有効」選択後【SCAN】(決定)キーを押します  日付の記録順については「4.4.2 (4)各種付加データの記録順について」を参照してください	
4.	日付付加画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとスキャン設定メニューに戻ります	



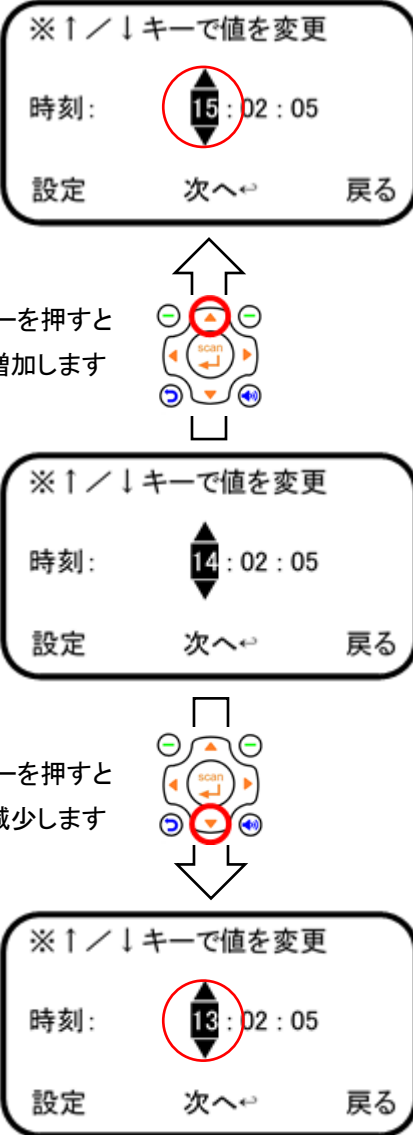
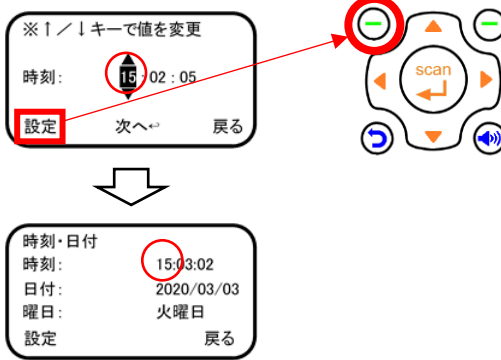
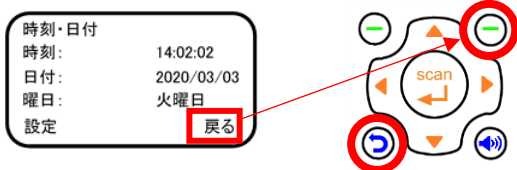
### 9.2.3 時刻付加

項番	説明	画面
1.	スキャン設定メニューで【↑】／【↓】キーを使用し「3.時刻付加」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、時刻付加画面を表示します	
2.	<b>a) 無効にする</b>  時刻付加画面で【↑】／【↓】キーを使用し「1.無効」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
3.	<b>b) 有効にする</b>  時刻付加画面で【↑】／【↓】キーを使用し「2.有効」選択後【SCAN】(決定)キーを押します  時刻の記録順については「4.4.2 (4)各種付加データの記録順について」を参照してください	
4.	時刻付加画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとスキャン設定メニューに戻ります	

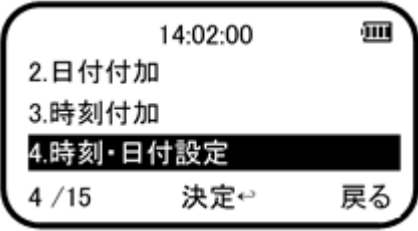
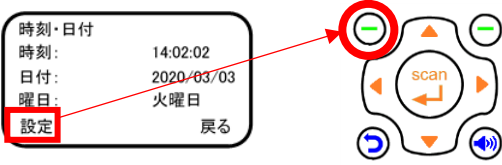
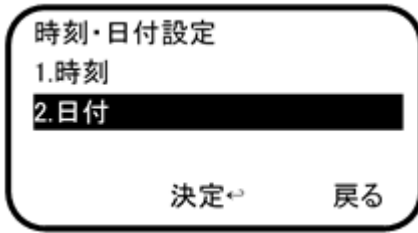
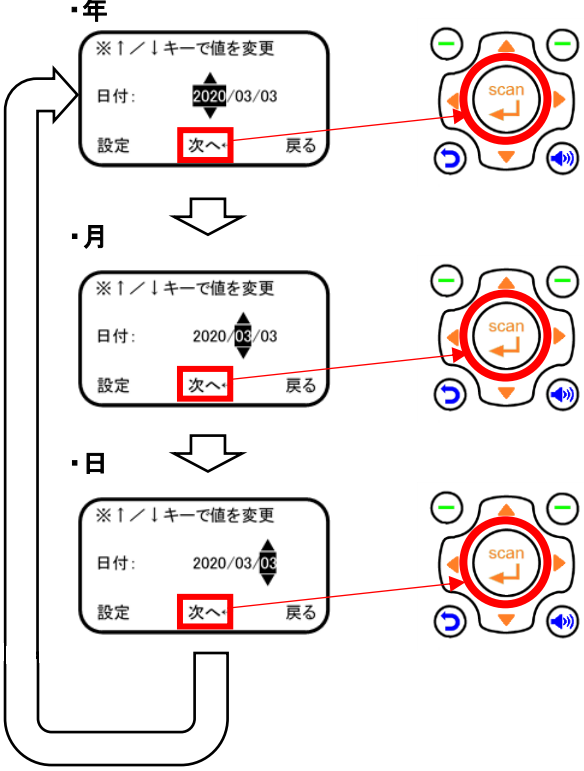
## 9.2.4 時刻・日付設定

### (1) 時刻を設定する

項番	説明	画面
1.	スキャン設定メニューで【↑】／【↓】キーを使用し「4. 時刻・日付設定」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、時刻・日付画面を表示します	
2.	時刻・日付画面を表示します ※現在の、時刻、日付、曜日を表示します  【左上】(設定)キーを押すと、時刻・日付設定画面を表示します	
3.	時刻・日付設定画面で【↑】／【↓】キーを使用し「1. 時刻」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、時刻設定画面を表示します  ※【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと時刻・日付画面に戻ります	
4.	時刻設定画面で、【SCAN】(次へ)キーまたは【→】キーを押し、変更を行う項目(時／分／秒)を選択します  ※キーを押す毎に「時→分→秒→時→分→秒...」と変更対象項目が移動します	

項番	説明	画面
5.	<p>時刻設定画面で【↑】／【↓】キーを使用し値を変更します</p> <p>【↑】キーを押すと値が1増加し、【↓】キーを押すと値が1減少します</p> <p>※右図は「時」を変更する場合の例です</p>	 <p>※↑／↓キーで値を変更</p> <p>時刻: 15:02:05</p> <p>設定 次へ 戻る</p> <p>【↑】キーを押すと値が1増加します</p> <p>※↑／↓キーで値を変更</p> <p>時刻: 14:02:05</p> <p>設定 次へ 戻る</p> <p>【↓】キーを押すと値が1減少します</p> <p>※↑／↓キーで値を変更</p> <p>時刻: 13:02:05</p> <p>設定 次へ 戻る</p>
6.	<p>【左上】(設定)キーを押すと、変更した値で時刻を設定し、時刻・日付画面に戻ります</p> <p>※時刻設定画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと時刻設定を中止し時刻・日付設定画面に戻ります</p>	 <p>※↑／↓キーで値を変更</p> <p>時刻: 15:02:05</p> <p>設定 次へ 戻る</p> <p>時刻・日付</p> <p>時刻: 15:03:02</p> <p>日付: 2020/03/03</p> <p>曜日: 火曜日</p> <p>設定 戻る</p>
7.	<p>時刻・日付画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとスキャン設定メニューに戻ります</p>	 <p>時刻・日付</p> <p>時刻: 14:02:02</p> <p>日付: 2020/03/03</p> <p>曜日: 火曜日</p> <p>設定 戻る</p>

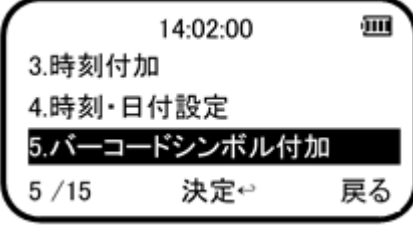
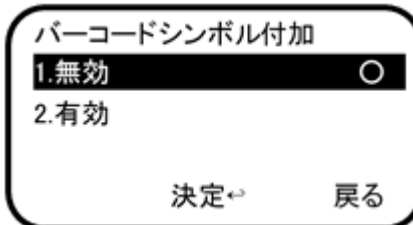
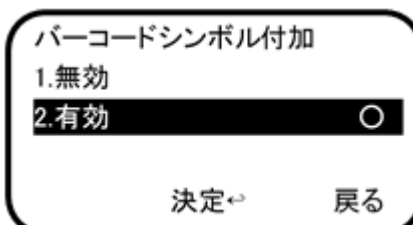
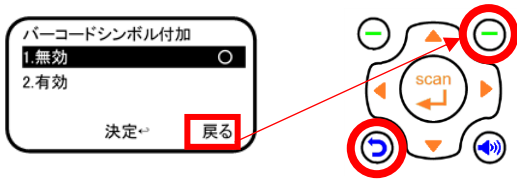
(2) 日付を設定する

項番	説明	画面
1.	<p>スキャン設定メニューで【↑】／【↓】キーを使用し「4. 時刻・日付設定」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、時刻・日付画面を表示します</p>	
2.	<p>時刻・日付画面を表示します ※現在の、時刻、日付、曜日表示します</p> <p>【左上】(設定)キーを押すと、時刻・日付設定画面を表示します</p>	
3.	<p>時刻・日付設定画面で【↑】／【↓】キーを使用し「2. 日付」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、日付設定画面を表示します</p> <p>※【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと時刻・日付画面に戻ります</p>	
4.	<p>日付設定画面で、【SCAN】(次へ)キーまたは【→】キーを押し、変更を行う項目(年／月／日)を選択します</p> <p>※キーを押す毎に「年→月→日→年→月→日…」と変更対象項目が移動します</p>	

項番	説明	画面
5.	<p>日付設定画面で【↑】／【↓】キーを使用し値を変更します</p> <p>【↑】キーを押すと値が1増加し、【↓】キーを押すと値が1減少します</p> <p>※右図は「年」を変更する場合の例です</p>	<p>※↑／↓キーで値を変更</p> <p>日付: 2021/03/03</p> <p>設定 次へ↔ 戻る</p> <p>【↑】キーを押すと 値が1増加します</p> <p>※↑／↓キーで値を変更</p> <p>日付: 2020/03/03</p> <p>設定 次へ↔ 戻る</p> <p>【↓】キーを押すと 値が1減少します</p> <p>※↑／↓キーで値を変更</p> <p>日付: 2021/03/03</p> <p>設定 次へ↔ 戻る</p>

項番	説明	画面
6.	<p>【左上】(設定)キーを押すと、変更した値で日付を設定し、時刻・日付画面に戻ります</p> <p>※日付設定画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと日付設定を中止し時刻・日付設定画面に戻ります</p>	
7.	<p>誤った日付で設定すると、設定に失敗した日付とエラーメッセージ「日付設定に失敗しました！」を表示します</p> <p>※【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと日付設定を中止し時刻・日付設定画面に戻ります</p>	
8.	<p>時刻・日付画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとスキャン設定メニューに戻ります</p>	

## 9.2.5 バーコードシンボル付加

項番	説明	画面
1.	<p>スキャン設定メニューで【↑】／【↓】キーを使用し「5 バーコードシンボル付加」選択後【SCAN】（決定）キーを押し、バーコードシンボル付加画面を表示します</p>	
2.	<p><b>a) 無効にする</b></p> <p>バーコードシンボル付加画面で【↑】／【↓】キーを使用し「1. 無効」選択後【SCAN】（決定）キーを押します</p>	
3.	<p><b>b) 有効にする</b></p> <p>バーコードシンボル付加画面で【↑】／【↓】キーを使用し「2. 有効」選択後【SCAN】（決定）キーを押します</p> <p>バーコードシンボルの記録順については「<a href="#">4.4.2 (4)各種付加データの記録順について</a>」を参照してください</p> <p>バーコードデータを手入力したときのバーコードシンボルは「NONE」となります</p> <p>バーコードデータの手入力については「<a href="#">4.2 読み取りデータを手入力する</a>」を参照してください</p>	
4.	<p>バーコードシンボル付加画面で【右上】（戻る）キーあるいは【リターン】キーを押すとスキャン設定メニューに戻ります</p>	

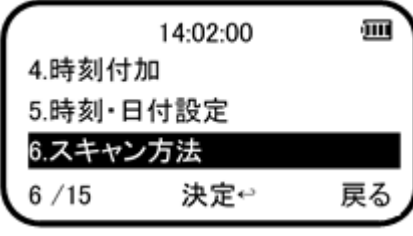
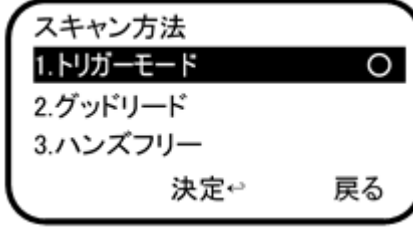
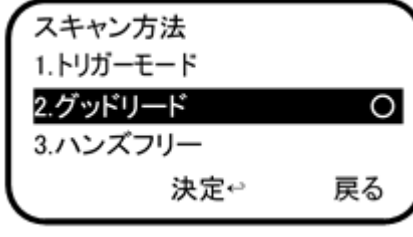
## 9.2.6 スキャン方法

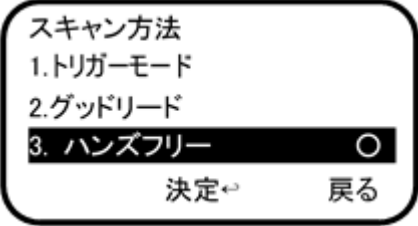
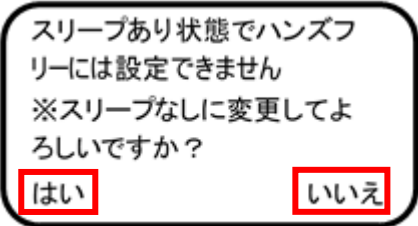
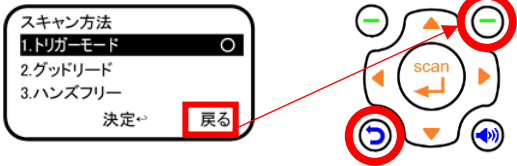
### (1) 1Dモデルのとき

項番	説明	画面
1.	スキャン設定メニューで【↑】／【↓】キーを使用し「6. スキャン方法」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、スキャン方法画面を表示します	
2.	<p>a) <u>トリガーモードにする</u></p> <p>スキャン方法画面で【↑】／【↓】キーを使用し「1. トリガーモード」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p>	
3.	<p>b) <u>グッドリードにする</u></p> <p>スキャン方法画面で【↑】／【↓】キーを使用し「2. グッドリード」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p>	
4.	<p>c) <u>オートスキャンにする</u></p> <p>スキャン方法画面で【↑】／【↓】キーを使用し「3. オートスキャン」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p>	
5.	スキャン方法画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとスキャン設定メニューに戻ります	

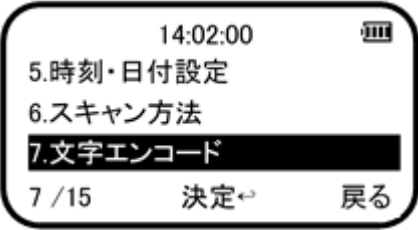
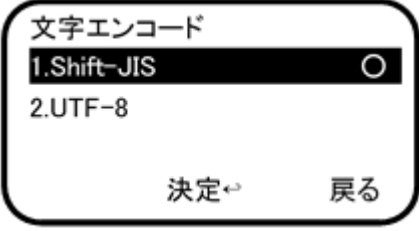
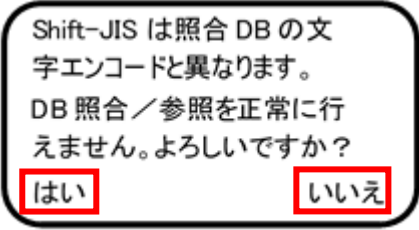


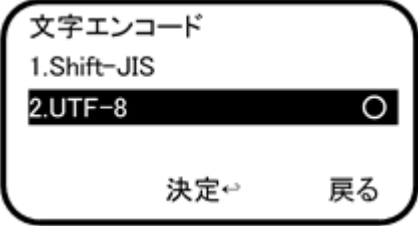
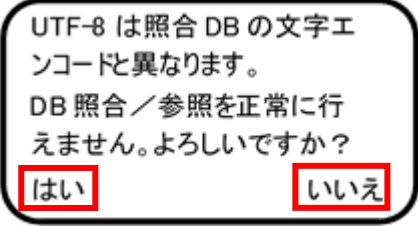
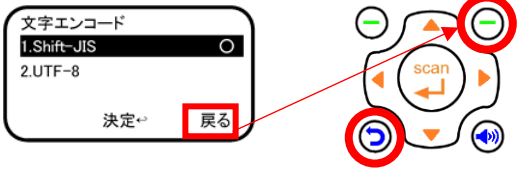
(2) 2D モデルのとき

項番	説明	画面
1.	<p>スキャン設定メニューで【↑】／【↓】キーを使用し「6. スキャン方法」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、スキャン方法画面を表示します</p>	
2.	<p><b>a) トリガーモードにする</b></p> <p>スキャン方法画面で【↑】／【↓】キーを使用し「1. トリガーモード」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p>	
3.	<p><b>b) グッドリードにする</b></p> <p>スキャン方法画面で【↑】／【↓】キーを使用し「2. グッドリード」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p>	

項番	説明	画面
4.	<p><b>c) ハンズフリーにする</b></p> <p>スキャン方法画面で【↑】／【↓】キーを使用し「3. ハンズフリー」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p> <p><b>※注意</b> ハンズフリーはスリープ「なし」の状態を設定可能です スリープ「なし」でないときはスリープ解除要求メッセージを表示します</p> <p>【左上】(はい)キーを押すとスリープ「なし」に変更後、ハンズフリーに設定します 【右上】(いいえ)キーを押すとハンズフリー設定を中止します</p>	 
5.	<p>スキャン方法画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとスキャン設定メニューに戻ります</p>	

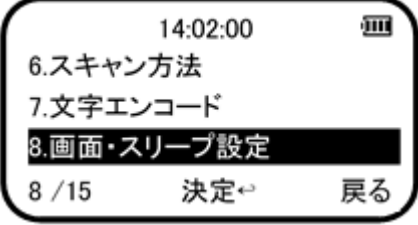
## 9.2.7 文字エンコード

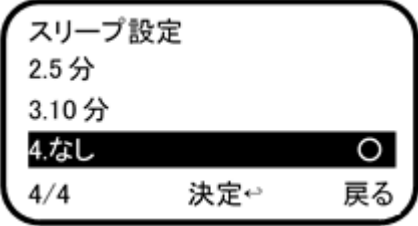
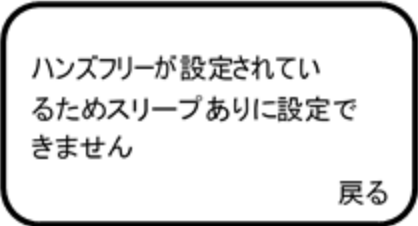
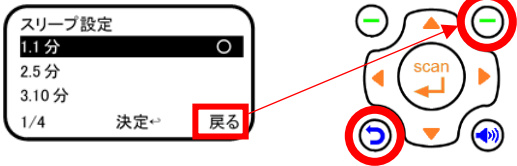
項番	説明	画面
1.	<p>スキャン設定メニューで【↑】／【↓】キーを使用し「7. 文字エンコード」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、文字エンコード画面を表示します</p>	
2.	<p><b>a) Shift-JIS にする</b></p> <p>文字エンコード画面で【↑】／【↓】キーを使用し「1. Shift-JIS」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p> <p><b>※注意</b> Shift-JIS が照合DBの文字エンコードと異なるときは、確認メッセージを表示します</p> <p>※バーコード読み取り時と照合DBの文字エンコードが異なると、漢字等を含むデータを正常に扱えません</p> <p>【左上】(はい)キーを押すと「Shift-JIS」に設定します 【右上】(いいえ)キーを押すと文字エンコードの設定を中止します</p> <p>照合DBの文字エンコードについては「<a href="#">5.1.3 照合DBを作成する(作成方法を定める)</a>」を参照してください</p>	 

項番	説明	画面
<p>3.</p> <p><b>b) UTF-8 にする</b></p> <p>文字エンコード画面で【↑】／【↓】キーを使用し「2. UTF-8」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p> <p><b>※注意</b> UTF-8 が照合DBの文字エンコードと異なるときは、確認メッセージを表示します</p> <p>※バーコード読み取り時と照合DBの文字エンコードが異なると、漢字等を含むデータを正常に扱えません</p> <p>【左上】(はい)キーを押すと「UTF-8」に設定します 【右上】(いいえ)キーを押すと文字エンコードの設定を中止します</p> <p>照合DBの文字エンコードについては「<a href="#">5.1.3 照合DBを作成する(作成方法を定める)</a>」を参照してください</p>		 
<p>4.</p> <p>文字エンコード画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとスキャン設定メニューに戻ります</p>		

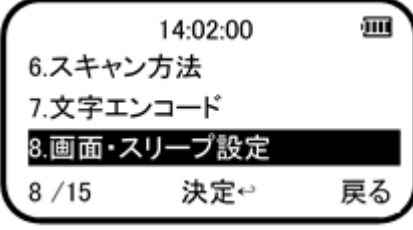
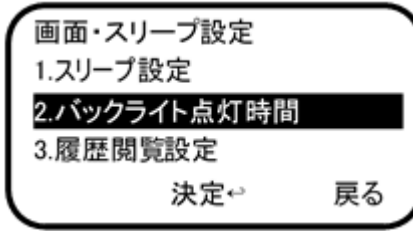
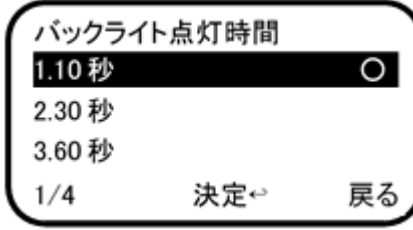
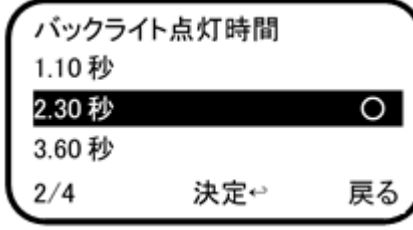
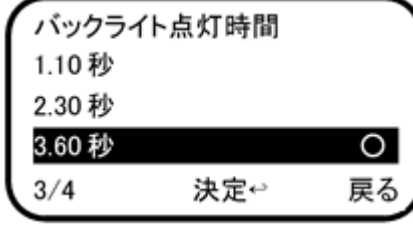
## 9.2.8 画面・スリープ設定

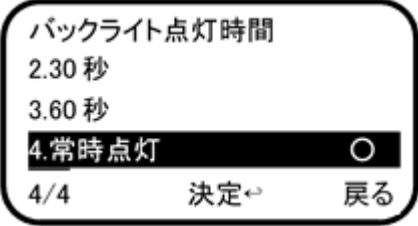
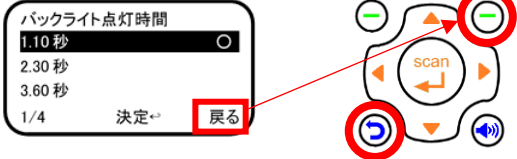
### (1) スリープ設定

項番	説明	画面
1.	<p>スキャン設定メニューで【↑】／【↓】キーを使用し「<b>8. 画面・スリープ設定</b>」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、画面・スリープ設定メニューを表示します</p>	
2.	<p>画面・スリープ設定メニューで【↑】／【↓】キーを使用し「<b>1. スリープ設定</b>」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、スリープ設定画面を表示します</p>	
3.	<p><b>a) 1分にする</b></p> <p>スリープ設定画面で【↑】／【↓】キーを使用し「<b>1. 1分</b>」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p>	
4.	<p><b>b) 5分にする</b></p> <p>スリープ設定画面で【↑】／【↓】キーを使用し「<b>2. 5分</b>」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p>	
5.	<p><b>c) 10分にする</b></p> <p>スリープ設定画面で【↑】／【↓】キーを使用し「<b>3. 10分</b>」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p>	

項番	説明	画面
6.	<p><b>d) なしにする</b></p> <p>スリープ設定画面で【↑】／【↓】キーを使用し「4. なし」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p> <p><b>※注意</b>            スキャン方法が「ハンズフリー」のとき、スリープありの項目(1分／5分／10分)は設定できません            「ハンズフリー」が設定された状態でスリープありの項目を選択すると、設定不可のメッセージを表示します</p> <p>【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとスリープ設定画面に戻ります</p>	 
7.	<p>スリープ設定画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと画面・スリープ設定メニューに戻ります</p>	

(2) バックライト点灯時間

項番	説明	画面
1.	<p>スキャン設定メニューで【↑】／【↓】キーを使用し「<b>8. 画面・スリープ設定</b>」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、画面・スリープ設定メニューを表示します</p>	
2.	<p>画面・スリープ設定メニューで【↑】／【↓】キーを使用し「<b>2. バックライト点灯時間</b>」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、バックライト点灯時間画面を表示します</p>	
3.	<p><u>a) 10 秒にする</u></p> <p>バックライト点灯時間画面で【↑】／【↓】キーを使用し「<b>1. 10 秒</b>」選択後【SCAN】(決定)キーを押しします</p>	
4.	<p><u>b) 30 秒にする</u></p> <p>バックライト点灯時間画面で【↑】／【↓】キーを使用し「<b>2. 30 秒</b>」選択後【SCAN】(決定)キーを押しします</p>	
5.	<p><u>c) 60 秒にする</u></p> <p>バックライト点灯時間画面で【↑】／【↓】キーを使用し「<b>3. 60 秒</b>」選択後【SCAN】(決定)キーを押しします</p>	

項番	説明	画面
6.	<p><b>d) 常時点灯にする</b></p> <p>バックライト点灯時間画面で【↑】／【↓】キーを使用し「4. 常時点灯」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p>	
7.	<p>バックライト点灯時間画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと画面・スリープ設定メニューに戻ります</p>	

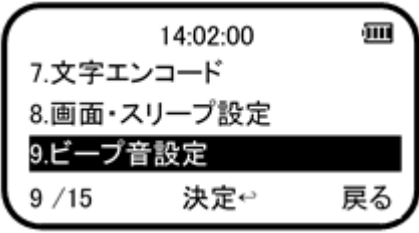
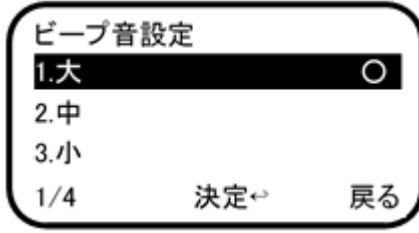
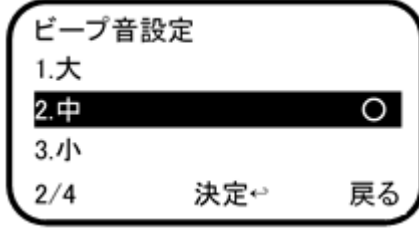
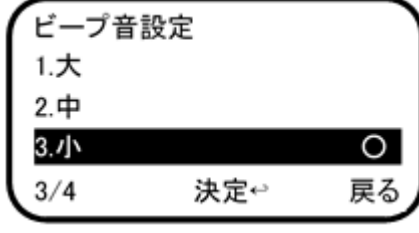
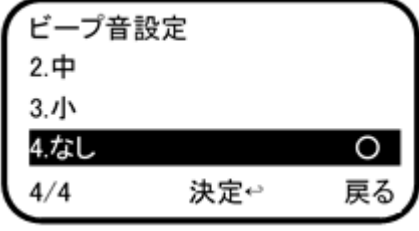
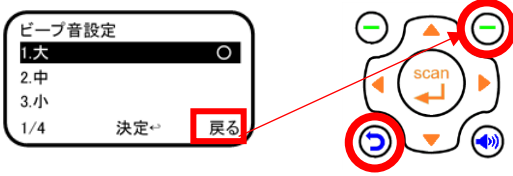


### (3) 履歴閲覧設定

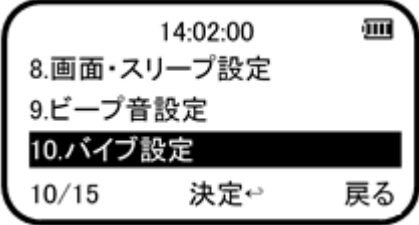
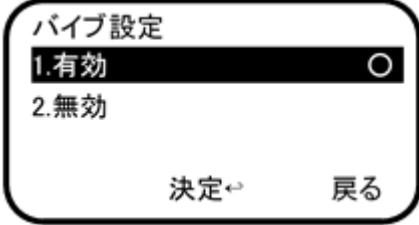
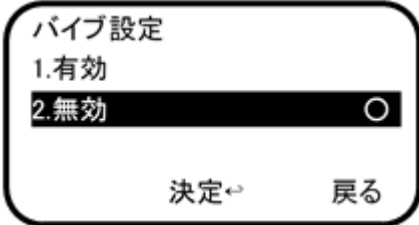
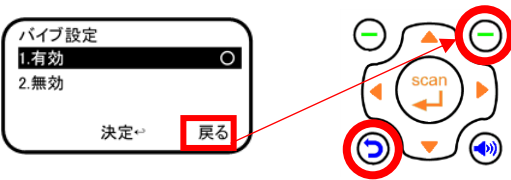
履歴(保存データ)一覧画面において、【←】(左)／【→】(右)キーを押したときの動作について設定します。

項番	説明	画面
1.	スキャン設定メニューで【↑】／【↓】キーを使用し「 <b>3. 画面・スリープ設定</b> 」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、画面・スリープ設定メニューを表示します	
2.	画面・スリープ設定メニューで【↑】／【↓】キーを使用し「 <b>3. 履歴閲覧設定</b> 」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、履歴閲覧設定画面を表示します	
3.	<p><b>a) 左右キーで頁を切り替える</b></p> <p>履歴閲覧設定画面で【↑】／【↓】キーを使用し「<b>1. 左右キーで頁切替</b>」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p> <p>※履歴一覧画面で【→】(右)キーを押すと次ページを、【←】(左)キーを押すと前ページを表示します</p>	
4.	<p><b>b) 右キーで全体表示する</b></p> <p>履歴閲覧設定画面で【↑】／【↓】キーを使用し「<b>2. 右キーで全体表示</b>」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p> <p>※履歴一覧画面で【→】(右)キーを押すと別画面でデータの全体表示を行い、【←】(左)キーを押すと前ページを表示します</p>	
5.	履歴閲覧設定画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと画面・スリープ設定メニューに戻ります	

## 9.2.9 ビープ音設定

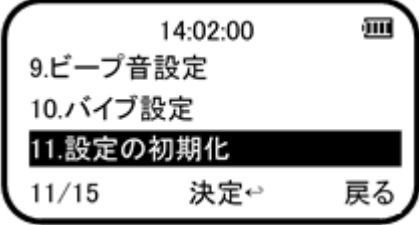
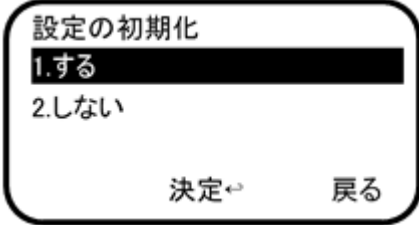
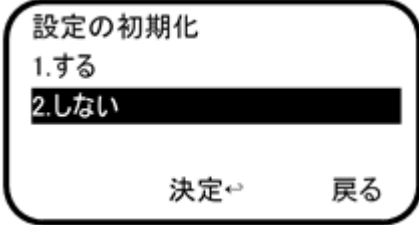
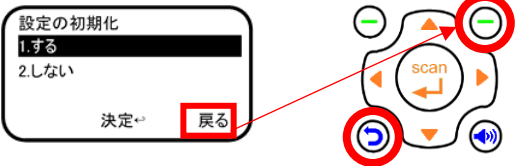
項番	説明	画面
1.	スキャン設定メニューで【↑】／【↓】キーを使用し「9. ビープ音設定」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、ビープ音設定画面を表示します	
2.	<b>a) 大にする</b> ビープ音設定画面で【↑】／【↓】キーを使用し「1. 大」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
3.	<b>b) 中にする</b> ビープ音設定画面で【↑】／【↓】キーを使用し「2. 中」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
4.	<b>c) 小にする</b> ビープ音設定画面で【↑】／【↓】キーを使用し「3. 小」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
5.	<b>d) なしにする</b> ビープ音設定画面で【↑】／【↓】キーを使用し「4. なし」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
6.	ビープ音設定画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとスキャン設定メニューに戻ります	

## 9.2.10 バイブ設定

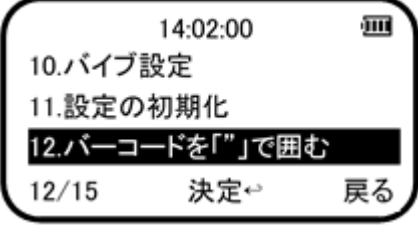
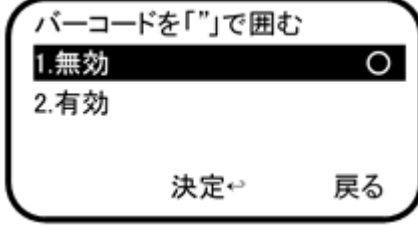
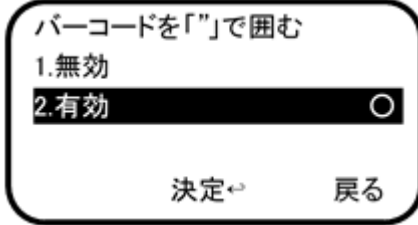
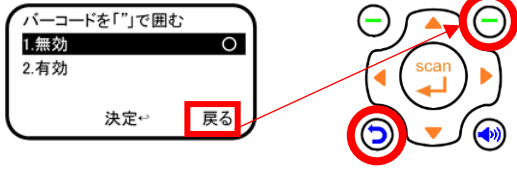
項番	説明	画面
1.	スキャン設定メニューで【↑】／【↓】キーを使用し「10. バイブ設定」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、バイブ設定画面を表示します	
2.	<p>a) <b>有効にする</b></p> <p>バイブ設定画面で【↑】／【↓】キーを使用し「1. 有効」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p>	
3.	<p>b) <b>無効にする</b></p> <p>バイブ設定画面で【↑】／【↓】キーを使用し「2. 無効」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p>	
4.	バイブ設定画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとスキャン設定メニューに戻ります	

## 9.2.11 設定の初期化

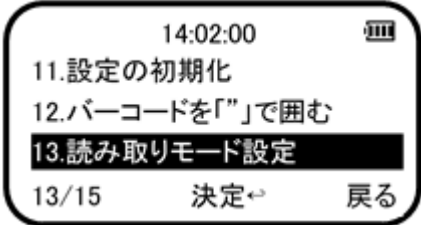
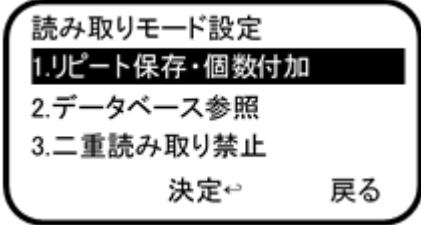
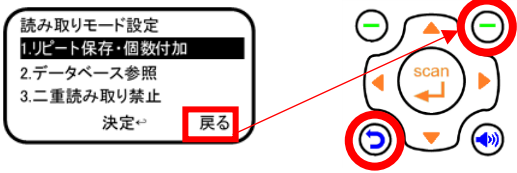
設定の初期化を行うと各種設定値を初期値に戻します。初期値については「3.2 メニュー構成」を参照してください。

項番	説明	画面
1.	スキャン設定メニューで【↑】／【↓】キーを使用し「11. 設定の初期化」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、設定の初期化画面を表示します	 <p>14:02:00</p> <p>9.ピープ音設定</p> <p>10.パイプ設定</p> <p><b>11.設定の初期化</b></p> <p>11/15 決定↔ 戻る</p>
2.	<p><b>a) 初期化する</b></p> <p>設定の初期化画面で【↑】／【↓】キーを使用し「1. する」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p> <p>設定の初期化を実施後、スキャンメニューに戻ります</p>	 <p>設定の初期化</p> <p><b>1. する</b></p> <p>2.しない</p> <p>決定↔ 戻る</p>
3.	<p><b>b) 初期化しない</b></p> <p>設定の初期化画面で【↑】／【↓】キーを使用し「2. しない」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p> <p>初期化を行わずスキャン設定メニューに戻ります</p>	 <p>設定の初期化</p> <p>1. する</p> <p><b>2. しない</b></p> <p>決定↔ 戻る</p>
4.	設定の初期化画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとスキャン設定メニューに戻ります	 <p>設定の初期化</p> <p>1. する</p> <p>2. しない</p> <p>決定↔ <b>戻る</b></p>

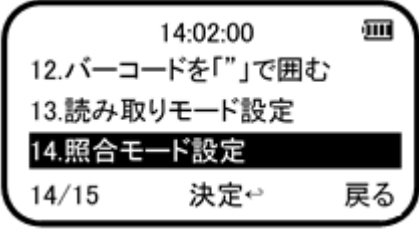
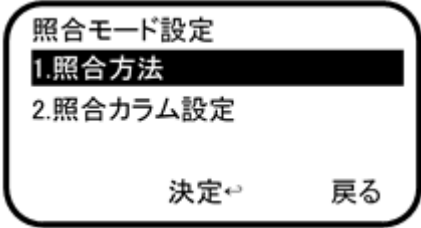
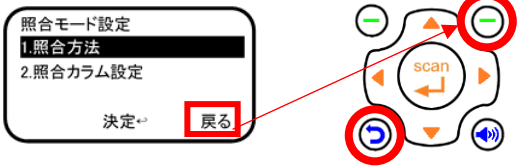
### 9.2.12 バーコードを「”」(ダブルクォート)で囲む

項番	説明	画面
1.	<p>スキャン設定メニューで【↑】／【↓】キーを使用し「12. バーコードを「”」で囲む」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、バーコードを「”」で囲む画面を表示します</p>	
2.	<p><b>a) 無効にする</b></p> <p>バーコードを「”」で囲む画面で【↑】／【↓】キーを使用し「1. 無効」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p>	
3.	<p><b>b) 有効にする</b></p> <p>バーコードを「”」で囲む画面で【↑】／【↓】キーを使用し「2. 有効」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p>	
4.	<p>バーコードを「”」で囲む画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとスキャン設定メニューに戻ります</p>	

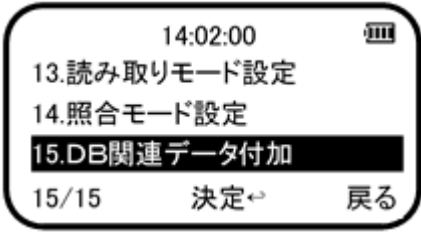
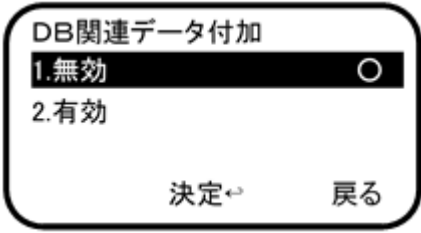
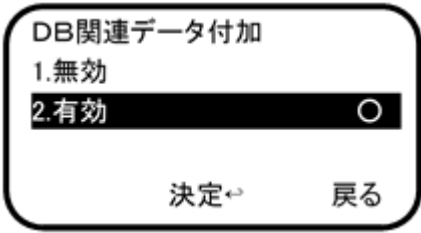
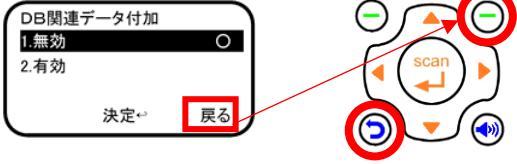
### 9.2.13 読み取りモード設定

項番	説明	画面
1.	スキャン設定メニューで【↑】／【↓】キーを使用し「13. 読み取りモード設定」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
2.	読み取りモード設定画面を表示します ここでは次の設定を行うことができます <ol style="list-style-type: none"> <li>1) リポート保存・個数付加                詳細については「<a href="#">4.3.2 リポート保存・個数付加の設定を行う</a>」を参照してください</li> <li>2) データベース参照                詳細については「<a href="#">4.3.3 データベース参照の設定を行う</a>」を参照してください</li> <li>3) 二重読み取り禁止                詳細については「<a href="#">4.3.4 二重読み取り禁止の設定を行う</a>」を参照してください</li> </ol>	
3.	読み取りモード設定画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとスキャン設定メニューに戻ります	

### 9.2.14 照合モード設定

項番	説明	画面
1.	スキャン設定メニューで【↑】／【↓】キーを使用し「14. 照合モード設定」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
2.	照合モード設定画面を表示します ここでは次の設定を行うことができます  1) 照合方法 詳細については以下を参照してください ・「 <a href="#">5.1.2 照合方法(1対1/1対N/DB)</a> を選択する」 ・「 <a href="#">5.1.3 照合DBを作成する(作成方法を決める)</a> 」 ・「 <a href="#">5.1.4 照合DBを作成する(データをDBに登録する)</a> 」  2) 照合カラム設定 詳細については「 <a href="#">5.1.5 照合カラム(照合範囲)を設定する</a> 」を参照してください	
3.	照合モード設定画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとスキャン設定メニューに戻ります	

### 9.2.15 DB関連データ付加

項番	説明	画面
1.	<p>スキャン設定メニューで【↑】／【↓】キーを使用し「15. DB関連データ付加」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、DB関連データ付加画面を表示します</p>	
2.	<p><b>a) 無効にする</b></p> <p>DB関連データ付加画面で【↑】／【↓】キーを使用し「1. 無効」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p>	
3.	<p><b>b) 有効にする</b></p> <p>DB関連データ付加画面で【↑】／【↓】キーを使用し「2. 有効」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p> <p>DB関連データの記録順については「<a href="#">4.4.2 (4) 各種付加データの記録順について</a>」を参照してください</p> <p>照合 DB に未登録だったときは、DB 関連データとして「NONE」を付加します</p>	
4.	<p>DB関連データ付加画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとスキャン設定メニューに戻ります</p>	

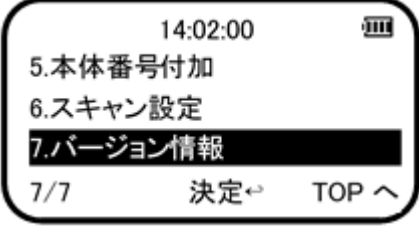
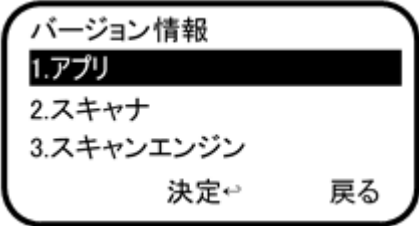
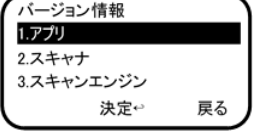
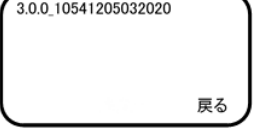
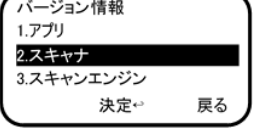
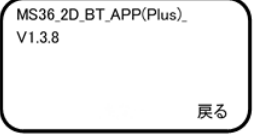



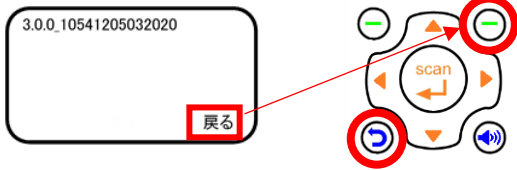
## 10 バージョン情報

本体格納している、アプリ、スキャナ、スキャンエンジンのバージョン情報を調べることができます。

バージョン情報を通常は意識する必要はありませんが、本体動作不具合発生等の問合せ時に必要となることがあります。

バージョン情報を表示するには、次の操作を行います。

項番	説明	画面
1.	メインメニューで【↑】／【↓】キーを使用し「7.バージョン情報」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、バージョン情報メニューを表示します	
2.	バージョン情報メニューを表示します  ※【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとメインメニューに戻ります	
3.	<b>a) アプリのバージョンを調べる</b>  バージョン情報メニューで【↑】／【↓】キーを使用し「1. アプリ」選択後【SCAN】(決定)キーを押すと、バージョン情報画面を表示します	 <p style="text-align: center;">↓</p> <p>※表示例</p> 
4.	<b>b) スキャナのバージョンを調べる</b>  バージョン情報メニューで【↑】／【↓】キーを使用し「2. スキャナ」選択後【SCAN】(決定)キーを押すと、バージョン情報画面を表示します	 <p style="text-align: center;">↓</p> <p>※表示例</p> 

項番	説明	画面
5.	<p><b>c) スキャンエンジンのバージョンを調べる</b></p> <p>バージョン情報メニューで【↑】／【↓】キーを使用し「<b>3. スキャンエンジン</b>」選択後【SCAN】(決定)キーを押すと、バージョン情報画面を表示します</p>	 <p>The top screenshot shows a menu titled 'バージョン情報' (Version Information) with three options: '1. アプリ' (App), '2. スキャナ' (Scanner), and '3. スキャンエンジン' (Scan Engine), which is highlighted. Below the menu are '決定' (Enter) and '戻る' (Back) buttons. An arrow points down to the second screenshot, which shows the version information for the scan engine: 'ME5800_APP_V1.6.0_Rel', 'Ease/S1.5.581/A2.6.20', and '8.2'. A '戻る' (Back) button is at the bottom.</p> <p>※表示例</p>
6.	<p>バージョン情報画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとバージョン情報メニューに戻ります</p>	 <p>The left screenshot shows the version information screen with the text '3.0.0_10541205032020' and a '戻る' (Back) button highlighted with a red box. To the right is a directional pad with four arrow keys. The top-right and bottom-left arrow keys are circled in red, with a red arrow pointing from the '戻る' button to the top-right key.</p>